YAMAHA

オーディオインターフェース

RUio1608SB-D

RUio0804-D

RUio16FLX-D

ユーザーガイド

I/O RACK

JA

目次

1. はじめに . . . 3
1.1. 記号や表示について . . . 3
1.2. お知らせ . . . 3
1.3. 使用対象者 . . . 3
1.4. 使用目的 . . . 3
1.5. マニュアルの構成 . . . 3
1.6. ファームウェアのアップデート . . . 4
1.7. ソースコードの配布 . . . 4
2. Danteについて . . . 5
2.1. Danteネットワーク設定とオーディオルーティング . . . 6
3. 接続方法について . . . 7
3.1. デイジーチェーン接続 . . . 7
3.2. スター接続 . . . 9
4. 各部の名称と機能 . . . 11
4.1. RUio1608SB-D . . . 11
4.2. RUio0804-D . . . 16
4.3. RUio16FLX-D . . . 20
5. 取り付け . . . 25
5.1. ラックマウントキットの取り付け (RUio1608SB-D) . . . 25
5.2. リセスについて (RUio1608SB-D、RUio0804-D) . . . 27
5.3. ユーロブロックプラグの取り付け (RUio16FLX-D) . . . 28
6. 基本操作 . . . 30
6.1. パネル操作 . . . 30
6.2. エラー表示 . . . 30
7. 画面 . . . 32
7.1. 画面構成 . . . 32
7.2. ホーム画面 . . . 33
7.3. METER画面 / +48V画面 . . . 35
7.4. MENU TOP画面 . . . 37
8. 操作 . . . 43
8.1. コントラスト/輝度を調整する . . . 43
8.2. PEAK HOLD (ピークホールド)をクリアする . . . 44
8.3. パネルロックする . . . 44
8.4. パネルロックを解除する . . . 44
8.5. [MENU/HOME]キーの正常時の設定を変更する . . . 45
8.6. [MENU/HOME]キーのエラー時の設定を変更する . . . 45
8.7. INPUTチャンネルのパラメーターを設定する . . . 46
9. 起動時のミュート設定を変更する . . . 47
9.1. REFRESH with MUTE (初期設定) . . . 47
9.2. RESUME w/o MUTE . . . 47
9.3. REFRESH w/o MUTE . . . 47
10. 初期化する . . . 48
10.1. 本体の初期化 (工場出荷時の状態に戻す) . . . 48
10.2. カレントパラメーターの初期化 . . . 49
10.3. Dante設定の初期化 . . . 50
10.4. 工場出荷時の初期値 . . . 51
11. 外部機器からの操作 . . . 53
11.1. デバイスラベルを設定する . . . 53

11.2. ネットワーク接続機器の中から本製品を特定する. 53
11.3. Remote Onlyをオン/オフする 53
11.4. 外部機器からのコントロール 54
12. 資料. 56
12.1. メッセージ一覧. 56
12.2. 一般仕様 60
12.3. オーディオ特性. 60
12.4. アナログ入力規格 *3 *4 63
12.5. アナログ出力規格 *2 64
12.6. デジタル入出力規格 64
12.7. コントロール入出力規格. 65
12.8. 寸法図. 66
12.9. トラブルシューティング(困ったときは) 69

1. はじめに

1.1. 記号や表示について

記号や表示	内容
⚠ 警告	死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	傷害を負う可能性が想定される内容です。
❗ ご注意	故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される内容です。
NOTE	操作や運用に関連した情報です。参考にお読みください。

1.2. お知らせ

- ソフトウェアおよび本書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- 本製品を国や地域の法律が定める著作権をはじめとする第三者の権利を侵害する用途で使用しないでください。
- あなたが本製品を使用して第三者の権利を侵害しても、弊社は一切責任を負いません。
- 本書に掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- ソフトウェアおよび本書を使用した結果とその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ソフトウェアは改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。
- 本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。
- 本書では、リモートコントロールで本製品のパラメーター操作ができる機器を「対応機器」と呼びます。また、「対応機器」の中でDante対応の機器を「対応デジタルミキサー」と呼びます。
- 本書では、特に断りがない限り、RUio1608SB-Dの画面を使用しています。

1.3. 使用対象者

本製品は、ミキシングエンジニアやオペレーターなどミキシングシステムの設定ができる方を対象としています。

1.4. 使用目的

本製品は、ホールやイベント、放送プロダクションでのミキシングシステムで使用します。

1.5. マニュアルの構成

はじめにお読みください(製品に同梱)
製品の概要や安全上のご注意などを説明しています。PDFはヤマハ プロオーディオ ウェブサイトからダウンロードできます。
https://www.yamahaproaudio.com/

RUio1608SB-D、RUio0804-D、RUio16FLX-D ユーザーガイド(本書)
本製品の機能や操作方法を詳細に説明しています。ヤマハ プロオーディオ ウェブサイトで提供しています。

https://www.yamahaproaudio.com/

1.6. ファームウェアのアップデート

本製品は、操作性向上や機能の追加、不具合の修正のために、本体のファームウェアをアップデートできる仕様になっています。
ファームウェアのアップデートに関する情報は、下記ウェブサイトに掲載されています。
https://www.yamahaproaudio.com/
アップデート手順や本体の設定については、ウェブサイトに用意されているファームウェアアップデートガイドをご参照ください。

1.7. ソースコードの配布

本製品の最終出荷日から3年間は、製品のソースコードのうちGNU General Public License / GNULesser General Public License / RealNetworks Public Source Licenseに基づいてライセンス供与された部分については、ソースコードを配布できます。以下の住所にお問い合わせください。

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町10-1
ヤマハ株式会社 音響事業本部 プロフェッショナルソリューション事業部
PA推進部 マーケティング＆セールスグループ

ソースコードの配布自体は無償ですが、ソースコードの送料につきましてはご負担いただきます。また、ソースコードは以下のURLでも配布しております。
https://www.yamahaproaudio.com/

- 弊社(または弊社認定の関係者)以外の第三者による、この製品のソフトウェアに対する変更や追加、削除によって発生したいかなる損害に対しても、弊社は一切責任を負いません。
- 弊社により一般に公開されたソースコードの再利用は保証されておりません。ソースコードに関して弊社は一切責任を負いません。

2. Danteについて

本製品は、オーディオ信号を伝送するプロトコルとしてDanteを採用しています。DanteはAudinate社が開発したネットワークオーディオプロトコルです。ギガビットイーサネット対応の同一ネットワーク内で、サンプリング周波数/ビットレートが違う複数のオーディオ信号や、機器のコントロール信号を同時に伝送できる特長を持っています。

そのほか、下記のような特長があります。

- 理論上はギガビットイーサネット環境で48 kHz/24ビットの音声を最大512イン/512アウトで合計1024チャンネル伝送できます。
- ネットワーク内の機器を自動的に検出・設定し、機器名も自由に設定できます。
- 高精度のネットワークシンクロ技術の採用により、低レイテンシー、低ジッター、高サンプル精度を実現します。
- プライマリー回線とセカンダリー回線による、万が一の障害に強いリダンダント接続に対応しています。
- イーサネットでコンピューターと接続し、オーディオインターフェース機器なしで音声を直接入力/出力することができます。(Dante Virtual SoundcardやDante Viaが必要です。)
- CAT5eのネットワークケーブルを使用した機器間で最長約100 mの長距離伝送ができます。但し、ケーブルの種類によって、使用できるケーブルの長さは異なります。

Danteの詳細については、Audinate社のウェブサイトをご参照ください。
https://www.audinate.com/
また、ヤマハプロオーディオのウェブサイトにも、Danteに関するさまざまな情報を掲載しています。
https://www.yamahaproaudio.com/

本製品はAudinate社提供のDanteモジュールを使用しています。
本製品で使用しているDanteモジュールはDante Controllerで確認できます。
Danteモジュールごとの、使用しているオープンソースライセンスについては、Audinate社のウェブサイト(英語)をご覧ください。
https://www.audinate.com/legal/software-licensing/

NOTE

Danteネットワーク内では、ネットワークスイッチのEEE機能(*)を使用しないでください。
EEE機能によってクロック同期性能が悪化して音声が途切れる場合があります。
そのため、以下の点にご注意ください。

- マネージドスイッチを使用する場合、Danteを使用するすべてのポートのEEE機能をオフにしてください。EEE機能がオフにできないスイッチは使用しないでください。
- アンマネージドスイッチを使用する場合、EEE機能に対応したスイッチを使用しないでください。
  これらのスイッチはEEE機能をオフにできません。
  * EEE (Energy Efficient Ethernet)機能: ネットワークのトラフィックが少ないときにイーサネット機器の消費電力を減らす技術です。グリーンイーサネットやIEEE802.3azとも呼ばれています。

2.1. Danteネットワーク設定とオーディオルーティング

本製品では、Sample Rate、Latency、EncodingなどのDanteネットワークの設定を変更できません。Danteネットワークの設定は、Dante Controllerか、対応デジタルミキサーから行います。Danteネットワークの設定の詳細は、各対応デジタルミキサーの取扱説明書をご参照ください。

Danteネットワークでは、複数のDante機器のオーディオ入出力を自由にルーティングできます。そのため、どのチャンネルの信号を、どこに送るかを設定する必要があります。Danteネットワークとオーディオルーティングの設定は、Dante Controllerを使います。

NOTE

Dante Controllerの操作や詳しい設定については、Dante Controllerのマニュアルをご参照ください。

3. 接続方法について

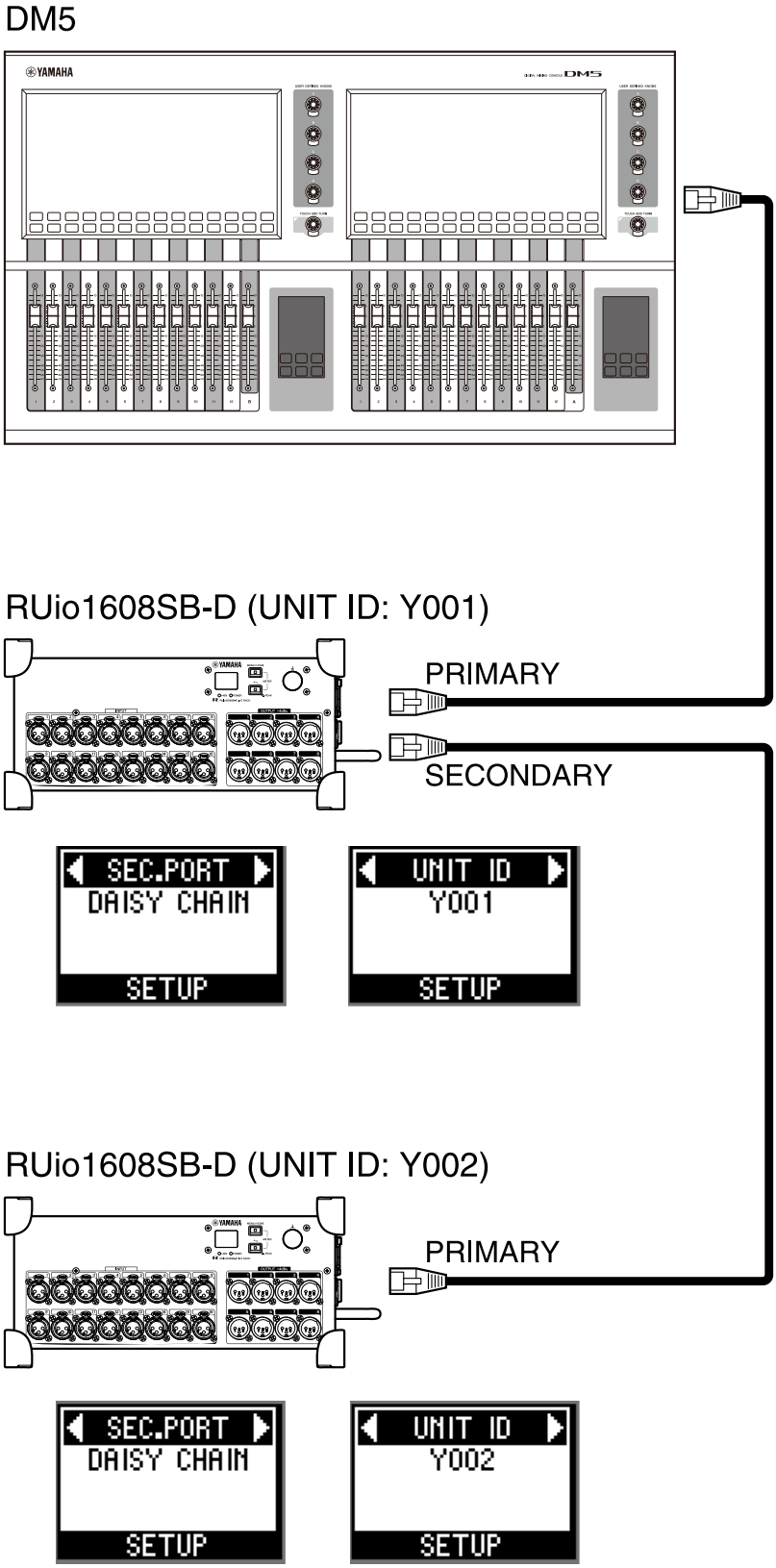
3.1. デイジーチェーン接続

本製品のDanteネットワークでの接続には、デイジーチェーン接続とスター接続の2つの方法があります。

NOTE

デイジーチェーン接続は、接続機器が少数台の簡単なシステムのときに使用します。
複数台接続する場合は、スター接続をおすすめします。

デイジーチェーンとは、機器を数珠つなぎにする接続方法です。ネットワーク構築が簡単で、ネットワークスイッチも不要です。
接続する機器が多くなると、末端機器間の伝送遅延が増えるため、Danteネットワーク上の音切れを防ぐためにもレイテンシーを大きく設定する必要があります。また、ケーブルの断線などによりシステムに障害が発生すると、ネットワークがそこで分断され、その先の機器との伝送ができなくなります。



NOTE

RUio1608SB-DのイラストをRUio0804-DやRUio16FLX-Dに置き換えることができます。

3.2. スター接続

本製品のDanteネットワークでの接続には、デイジーチェーン接続とスター接続の2つの方法があります。

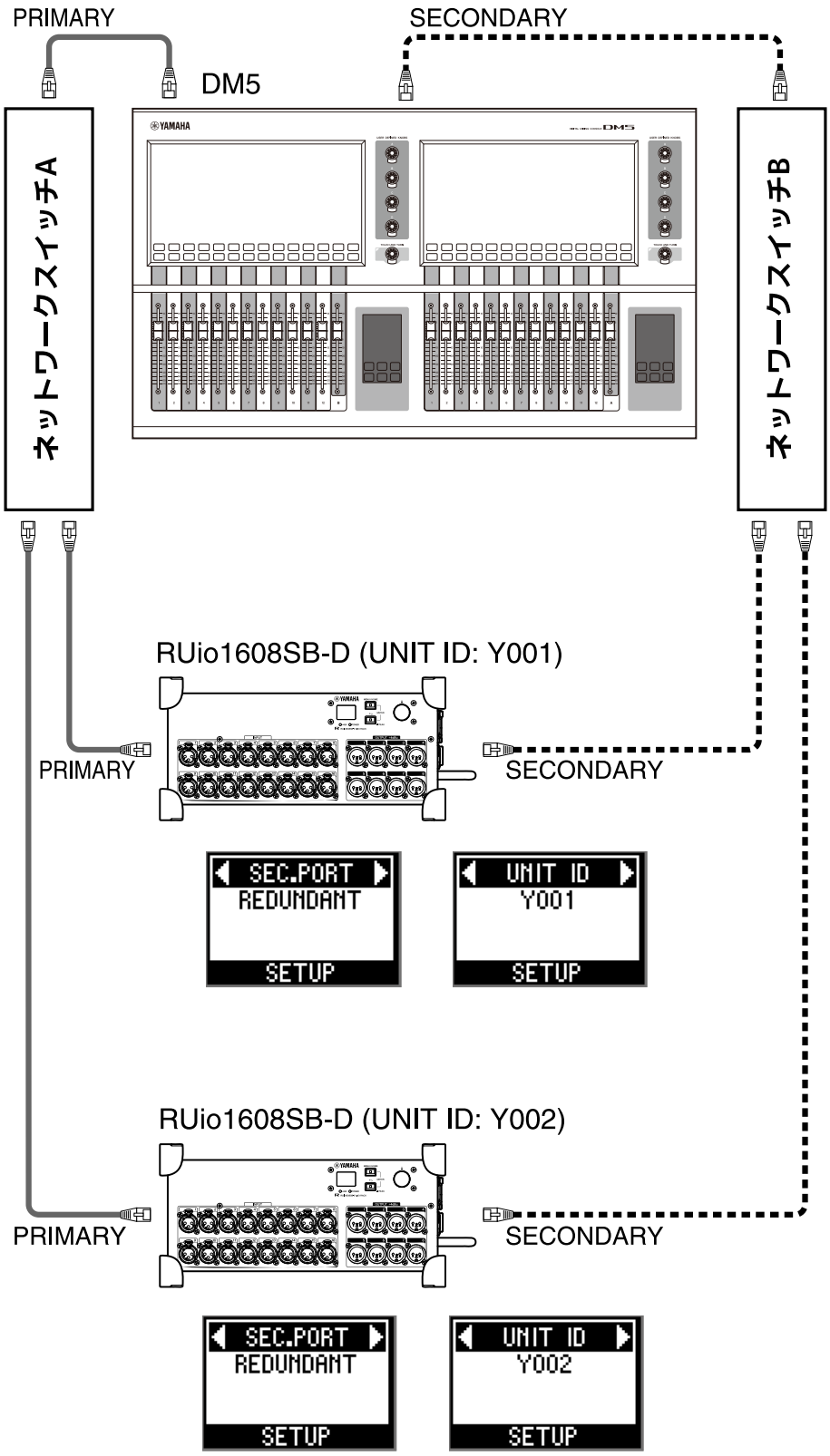
NOTE

デイジーチェーン接続は、接続機器が少数台の簡単なシステムのときに使用します。
複数台接続する場合は、スター接続をおすすめします。

スター接続とは、ネットワークスイッチを中心に機器を接続する方法です。ギガビットイーサネットに対応したネットワークスイッチを使うことで、幅広い帯域が必要な大規模ネットワークにも対応します。ネットワークスイッチには、ネットワークを制御/監視するためのさまざまな機能(任意のデータ回線のクロック同期や音声の伝送を優先させるQoSなど)が盛り込まれているものをおすすめします。
このとき、万が一のネットワーク障害が起きても、音声に影響させずに通信ができる環境を構築するためにリダンダントネットワークを構築するのが一般的です。

3.2.1. リダンダントネットワークについて

リダンダントネットワークとは、主回線(プライマリー)と副回線(セカンダリー)の2回線で構成されたネットワークです。通常はプライマリー回線で通信していますが、プライマリー回線に断線などのトラブルが発生した場合は、自動的に通信がセカンダリー回線に切り替わります。スター接続のときに、この方法で接続することによって、デイジーチェーンで構築されたネットワークよりも、ネットワーク障害に強い環境を構築できます。



プライマリーDante

セカンダリーDante

NOTE

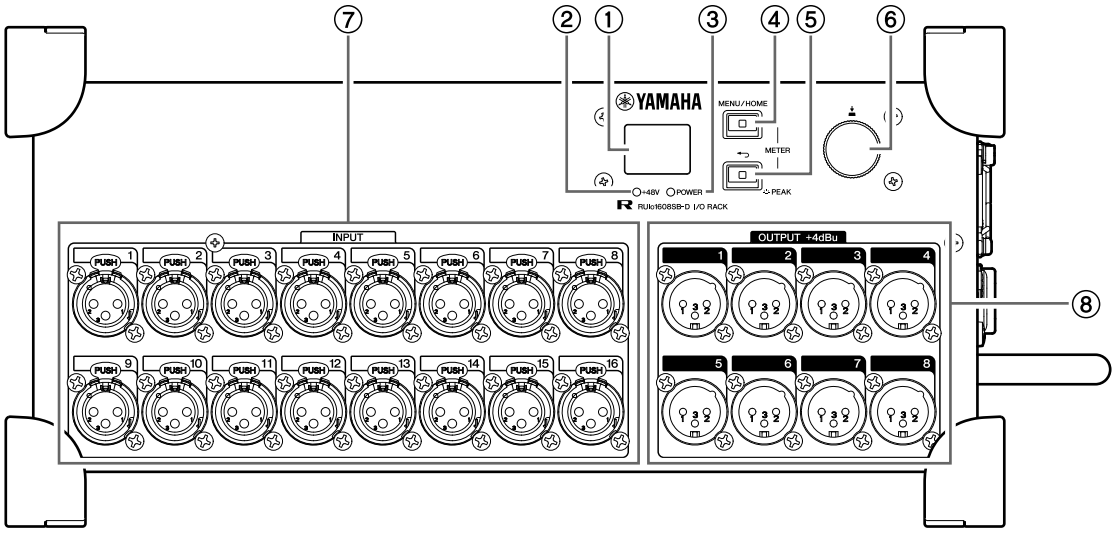
RUio1608SB-Dのイラストを使って説明しています。RUio0804-DやRUio16FLX-Dに置き換えることができます。

4. 各部の名称と機能

本書では、パネル上に印刷されている名称を[ ]でくくって表記します(例: [INPUT])。

4.1. RUio1608SB-D

4.1.1. フロントパネル



① ディスプレイ
ヘッドアンプなどのパラメーター値やエラー/ステータス情報などを表示します。

② [+48V]
いずれかのINPUTチャンネルでファンタム電源(+48V)の設定がオンのとき、点灯するインジケーターです。各INPUTチャンネルのファンタム電源のオン/オフは、本体フロントパネルのディスプレイ、または対応機器から切り替えます。オンに設定されているファンタム電源を一時的にオフにしている間は、点灯から点滅に変わります。

関連リンク
「+48V画面」
「INPUTチャンネルのパラメーターを設定する」

警告

ファンタム電源のオン/オフを切り替えるときは、デジタルミキサーの出力コントロールをすべて最小にしてください。大音量が出て、聴力障害、または機器の損傷になることがあります。

ご注意

本製品/外部機器の故障やノイズを防ぐために、ファンタム電源のオン/オフについて、以下に注意してください。

- ファンタム電源が不要な場合はオフにしてください。
- [INPUT]端子または[FLEXIBLE I/O]端子(入力)に、ファンタム電源非対応の機器を接続するときは、オフにしてください。
- オンにしたまま、[INPUT]端子または[FLEXIBLE I/O]端子(入力)でケーブルの抜き差しをしないで

ください。

- オン/オフは、出力コントロールを最小にした状態で行ってください。
- オン/オフを切り替えるときは、スピーカー保護のために、パワーアンプ(パワードスピーカー)の電源をオフにしてください。

NOTE

機器全体のファンタム電源は常にオンです。ファンタム電源を一時的にオフにする方法については、「+48V画面」のNOTEをご参照ください。

③ [POWER]
本製品の電源がオンのとき点灯するインジケーターです。

④ [MENU/HOME]
ホーム画面がディスプレイに表示されているときにこのキーを押すと、MENU TOP画面が表示され、メニューを選択できます。ホーム画面以外の画面が表示されているときにこのキーを押すとホーム画面が表示されます。

そのほか、下記の機能があります。

■METER画面や+48V画面の表示
[MENU/HOME]キーと[↩](バック)/[PEAK]キー(⑤)を同時に押すと、METER画面や+48V画面が表示されます。

関連リンク
「METER画面 / +48V画面」

■パネルロックの設定や解除するポップアップ画面の表示
[MENU/HOME] キーと[↩](バック)/[PEAK]キー(⑤)を同時に3秒以上長押しすると、パネルロックの設定や解除をするポップアップ画面が表示されます。

関連リンク
「パネルロックする」
「パネルロックを解除する」

■コントラスト/輝度の初期化
[MENU/HOME] キーを長押しすると、コントラスト/輝度が初期化されます。
同時にコントラスト/輝度調整ポップアップ画面が表示されるため、スイッチ付きエンコーダーを回して調整できます。

関連リンク
「コントラスト/輝度を調整する」

■本体の状態を表示
本体の状態を表示します。
正常時および異常時の表示動作を、それぞれ下記のように設定できます。

正常時
点灯する色や、点灯/消灯を変更できます。

点灯	青色に点灯
	緑色に点灯
消灯	点灯しない

異常時
致命的なエラーが発生した場合(エラー)や、異常があるが継続使用が可能な場合(注意)の設定を下記のように選択できます。

点灯	エラー	赤色に点灯 (色は変更できません。)
	注意	橙色に点灯 (色は変更できません。)
点滅	エラー	赤色 + 正常時 の設定 (青色)
		赤色 + 正常時 の設定 (緑色)
		赤色 + 正常時 の設定 (点灯しない)
	注意	橙色 + 正常時 の設定 (青色)
		橙色 + 正常時 の設定 (緑色)
		橙色 + 正常時 の設定 (点灯しない)
異常時の色(赤色、橙色)の消灯(正常時の色として設定した色のみ点灯します。)	エラー / 注意	正常時の色に点灯 (青色)
		正常時の色に点灯 (緑色)
		点灯しない

関連リンク
「[MENU/HOME]キーの正常時の設定を変更する」
「[MENU/HOME]キーのエラー時の設定を変更する」

⑤ [↩](バック)/[PEAK]
このキーを押すと、1つ前の画面が表示されます。また、いずれかのINPUTチャンネルの入力レベルが–3 dBFS以上のとき、赤色に点灯します。
METER画面を表示しているときにこのキーを長押しすると、PEAK HOLD (ピークホールド)がクリアされます。

NOTE

このキーと[MENU/HOME]キーを同時に3秒以上長押しすると、パネルロックの設定や解除をするポップアップ画面が表示されます。(「パネルロックする」、「パネルロックを解除する」をご参照ください。)

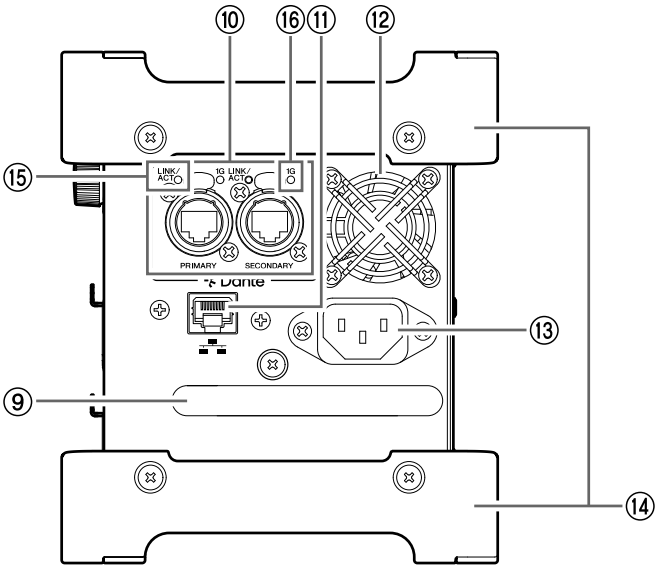
⑥ スイッチ付きエンコーダー
このエンコーダーを回すことでメニューやパラメーターを選択し、押すことで選択を確定したり、表示を切り替えたりします。
また、+48V画面を表示しているときにこのエンコーダーを長押しすると、押している間は機器全体のファンタム電源が一時的にオフになります。また、ディスプレイに「+48V ACTIVE TEMPORARY OFF」というメッセージが表示されます。

⑦ [INPUT] 1〜16
バランスXLR3ホール入力端子で、各チャンネルにアナログ信号を入力します。定格入力レベルは–60 dBu〜+4 dBuです。ファンタム電源(+48V)を必要とする機器に電源を供給できます。

⑧ [OUTPUT] 1〜8
バランスXLR3ピン出力端子で、各チャンネルからアナログ信号を出力します。定格出力レベルは+4 dBuです。

Device Identify機能
Device Identify機能を使用すると、ディスプレイと[+48V]インジケーターが点滅します。同時に、[MENU/HOME]キーおよび[⮌](バック)/[PEAK]キーが緑色に点滅します。
詳細は「ネットワーク接続機器の中から本製品を特定する」をご参照ください。

4.1.2. サイドパネル



⑨ ハンドル
本製品を持ち上げるときにつかみます。

⑩ Dante [PRIMARY]/[SECONDARY]
イーサネットケーブル(CAT5e以上を推奨)を使用して、Dante機器と接続するetherCON (RJ-45)端子です。SECONDARYポート(*)をDAISY CHAINに設定している場合、片方の端子から入った信号をもう片方の端子に送信します。
また、SECONDARYポート(*)をREDUNDANTに設定している場合、Dante [PRIMARY]端子はプライマリー接続用、Dante [SECONDARY]端子はセカンダリー(バックアップ)接続用です。何らかの理由でDante [PRIMARY]端子で伝送できなくなった場合(ケーブルが損傷したり、誤って接続が外れたりした場合、あるいはネットワークスイッチが故障した場合など)には、自動的にDante [SECONDARY]端子に切り替わります。
(* SECONDARYポートの設定画面を表示するには、まずMENU TOP画面でSETUPを選択/確定します。次にSETUPメニューで、SEC.PORT (SECONDARY PORT)を選択/確定します。)

関連リンク
「接続方法について」
「SETUPメニュー」

NOTE

- Neutrik社製のetherCON CAT5eと適合するRJ-45プラグのケーブルをおすすめします。通常のRJ-45プラグも使用できます。
- 接続する機器はDante機器またはギガビットイーサネット対応機器(コンピューターを含む)だけにしてください。
- Danteネットワーク内では、ネットワークスイッチのEEE機能を使用しないでください。EEE機能によってクロック同期性能が悪化して音声が途切れる場合があります。
  詳細は「Danteについて」のNOTEをご参照ください。

⑪ ネットワーク端子
イーサネットケーブル(CAT5以上を推奨)を使用して、コンピューターと接続するRJ-45端子です。

⑫ 排気口
本製品には冷却用ファンが装備されています。ここから排気されますので、障害物などで排気口をふさがないでください。

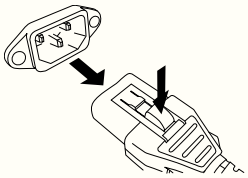
注意

本製品の通風孔をふさがないでください。内部の温度上昇を防ぐため、本製品の前面/背面(RUio0804-D、RUio16FLX-D)、側面(RUio1608SB-D)には通風孔があります。通風孔をふさぐと、製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。

⑬ AC IN端子
付属の電源コードを接続します。まずこの端子と電源コードを接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込むと、電源がオンになります。電源プラグをコンセントから抜くと電源がオフになります。

注意

電源コードを接続するときは、ロックされるまでしっかり奥に差し込んでください。
付属の電源コードはラッチによるロック機構(Vロック)を備えており、電源コードが意図せず外れてしまうことを防ぎます。
電源コードを取り外すときは、電源コードのラッチを押して取り外してください。



ご注意

電源をオフにしてから再度オンにする場合は、6秒以上の間隔を空けてください。電源のオン/オフを連続して素早く切り替えると、誤動作の原因になることがあります。

⑭ プロテクター
本製品は2段まで積み重ねることができます。このプロテクター部分に積み重ねます。ラックマウント時は取り外してください。

注意

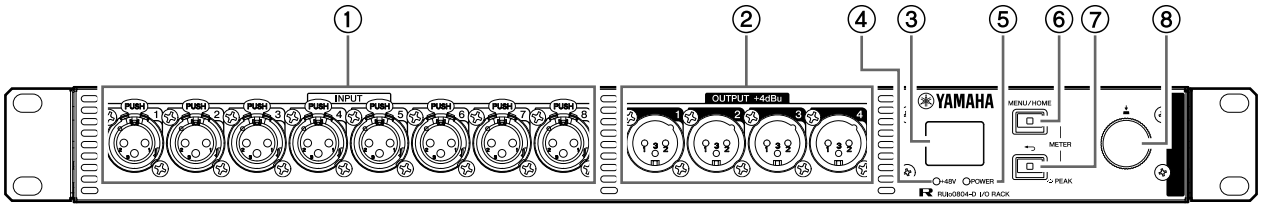
不安定な場所では使用しないでください。本製品の「はじめにお読みください」に記載の「安全上のご注意」に従ってご使用ください。

⑮ [LINK/ACT]
Dante [PRIMARY]端子とDante [SECONDARY]端子それぞれの通信状態をあらわすインジケーターです。
イーサネットケーブルが正しく接続されている場合には速く点滅します。

⑯ [1G]
Danteネットワークがギガビットイーサネットとして機能しているときに点灯するインジケーターです。

4.2. RUio0804-D

4.2.1. フロントパネル



① [INPUT] 1〜8
バランスXLR3ホール入力端子で、各チャンネルにアナログ信号を入力します。定格入力レベルは–60 dBu〜+4 dBuです。ファンタム電源(+48V)を必要とする機器に電源を供給できます。

② [OUTPUT] 1〜4
バランスXLR3ピン出力端子で、各チャンネルからアナログ信号を出力します。定格出力レベルは+4 dBuです。

③ ディスプレイ
ヘッドアンプなどのパラメーター値やエラー/ステータス情報などを表示します。

④ [+48V]
いずれかのINPUTチャンネルでファンタム電源(+48V)の設定がオンのとき、点灯するインジケーターです。各INPUTチャンネルのファンタム電源のオン/オフは、本体フロントパネルのディスプレイ、または対応機器から切り替えます。オンに設定されているファンタム電源を一時的にオフにしている間は、点灯から点滅に変わります。

関連リンク
「+48V画面」
「INPUTチャンネルのパラメーターを設定する」

警告

ファンタム電源のオン/オフを切り替えるときは、デジタルミキサーの出力コントロールをすべて最小にしてください。大音量が出て、聴力障害、または機器の損傷になることがあります。

ご注意

本製品/外部機器の故障やノイズを防ぐために、ファンタム電源のオン/オフについて、以下に注意してください。

- ファンタム電源が不要な場合はオフにしてください。
- [INPUT]端子または[FLEXIBLE I/O]端子(入力)に、ファンタム電源非対応の機器を接続するときは、オフにしてください。
- オンにしたまま、[INPUT]端子または[FLEXIBLE I/O]端子(入力)でケーブルの抜き差しをしないでください。
- オン/オフは、出力コントロールを最小にした状態で行ってください。
- オン/オフを切り替えるときは、スピーカー保護のために、パワーアンプ(パワードスピーカー)の電源をオフにしてください。

NOTE

機器全体のファンタム電源は常にオンです。ファンタム電源を一時的にオフにする方法については、「+48V画面」のNOTEをご参照ください。

⑤ [POWER]
本製品の電源がオンのとき点灯するインジケーターです。

⑥ [MENU/HOME]
ホーム画面がディスプレイに表示されているときにこのキーを押すと、MENU TOP画面が表示され、メニューを選択できます。ホーム画面以外の画面が表示されているときにこのキーを押すとホーム画面が表示されます。

そのほか、下記の機能があります。

■METER画面や+48V画面の表示
[MENU/HOME]キーと[↩](バック)/[PEAK]キー(⑦)を同時に押すと、METER画面や+48V画面が表示されます。

関連リンク
「METER画面 / +48V画面」

■パネルロックの設定や解除するポップアップ画面の表示
[MENU/HOME] キーと[↩](バック)/[PEAK]キー(⑦)を同時に3秒以上長押しすると、パネルロックの設定や解除をするポップアップ画面が表示されます。

関連リンク
「パネルロックする」
「パネルロックを解除する」

■コントラスト/輝度の初期化
[MENU/HOME] キーを長押しすると、コントラスト/輝度が初期化されます。
同時にコントラスト/輝度調整ポップアップ画面が表示されるため、スイッチ付きエンコーダーを回して調整できます。

関連リンク
「コントラスト/輝度を調整する」

■本体の状態を表示
本体の状態を表示します。
正常時および異常時の表示動作を、それぞれ下記のように設定できます。

正常時
点灯する色や、点灯/消灯を変更できます。

点灯	青色に点灯
	緑色に点灯
消灯	点灯しない

異常時
致命的なエラーが発生した場合(エラー)や、異常があるが継続使用が可能な場合(注意)の設定を下記のように選択できます。

点灯	エラー	赤色に点灯 (色は変更できません。)
	注意	橙色に点灯 (色は変更できません。)

点滅	エラー	赤色 + 正常時 の設定 (青色)
		赤色 + 正常時 の設定 (緑色)
		赤色 + 正常時 の設定 (点灯しない)
	注意	橙色 + 正常時 の設定 (青色)
		橙色 + 正常時 の設定 (緑色)
		橙色 + 正常時 の設定 (点灯しない)
異常時の色(赤色、橙色)の消灯(正常時の色として設定した色のみ点灯します。)	エラー / 注意	正常時の色に点灯 (青色)
		正常時の色に点灯 (緑色)
		点灯しない

関連リンク

「[MENU/HOME]キーの正常時の設定を変更する」
「[MENU/HOME]キーのエラー時の設定を変更する」

⑦ [⮌](バック)/[PEAK]

このキーを押すと、1つ前の画面が表示されます。また、いずれかのINPUTチャンネルの入力レベルが–3 dBFS以上のとき、赤色に点灯します。
METER画面を表示しているときにこのキーを長押しすると、PEAK HOLD (ピークホールド)がクリアされます。

NOTE

このキーと[MENU/HOME]キーを同時に3秒以上長押しすると、パネルロックの設定や解除をするポップアップ画面が表示されます。(「パネルロックする」、「パネルロックを解除する」をご参照ください。)

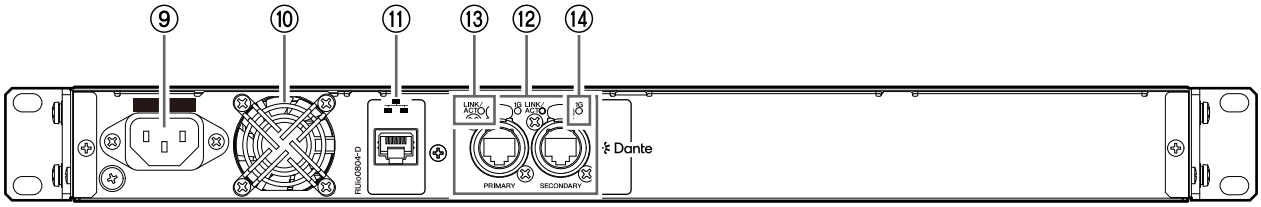
⑧ スイッチ付きエンコーダー

このエンコーダーを回すことでメニューやパラメーターを選択し、押すことで選択を確定したり、表示を切り替えたりします。
また、+48V画面を表示しているときにこのエンコーダーを長押しすると、押している間は機器全体のファンタム電源が一時的にオフになります。また、ディスプレイに「+48V ACTIVE TEMPORARY OFF」というメッセージが表示されます。

Device Identify機能

Device Identify機能を使用すると、ディスプレイと[+48V]インジケーターが点滅します。同時に、[MENU/HOME]キーおよび[⮌](バック)/[PEAK]キーが緑色に点滅します。
詳細は「ネットワーク接続機器の中から本製品を特定する」をご参照ください。

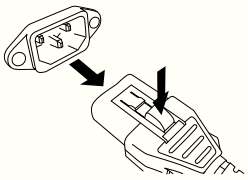
4.2.2. リアパネル



⑨ AC IN端子
付属の電源コードを接続します。まずこの端子と電源コードを接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込むと、電源がオンになります。電源プラグをコンセントから抜くと電源がオフになります。

注意

電源コードを接続するときは、ロックされるまでしっかり奥に差し込んでください。
付属の電源コードはラッチによるロック機構(Vロック)を備えており、電源コードが意図せず外れてしまうことを防ぎます。
電源コードを取り外すときは、電源コードのラッチを押して取り外してください。



ご注意

電源をオフにしてから再度オンにする場合は、6秒以上の間隔を空けてください。電源のオン/オフを連続して素早く切り替えると、誤動作の原因になることがあります。

⑩ 排気口
本製品には冷却用ファンが装備されています。ここから排気されますので、障害物などで排気口をふさがないでください。

注意

本製品の通風孔をふさがないでください。内部の温度上昇を防ぐため、本製品の前面/背面(RUio0804-D、RUio16FLX-D)、側面(RUio1608SB-D)には通風孔があります。通風孔をふさぐと、製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。

⑪ ネットワーク端子
イーサネットケーブル(CAT5以上を推奨)を使用して、コンピューターと接続するRJ-45端子です。

⑫ Dante [PRIMARY]/[SECONDARY]
イーサネットケーブル(CAT5e以上を推奨)を使用して、Dante機器と接続するetherCON (RJ-45)端子です。
SECONDARYポート(*)をDAISY CHAINに設定している場合、片方の端子から入った信号をもう片方の端子に送信します。
また、SECONDARYポート(*)をREDUNDANTに設定している場合、Dante [PRIMARY]端子はプライマリー接続用、Dante [SECONDARY]端子はセカンダリー(バックアップ)接続用です。何らかの理由でDante [PRIMARY]端子で伝送できなくなった場合(ケーブルが損傷したり、誤って接続が外れたりした場合、あるいはネットワークスイッチが故障した場合など)には、自動的にDante [SECONDARY]端子に切り替わります。
(* SECONDARYポートの設定画面を表示するには、まずMENU TOP画面でSETUPを選択/確定します。次にSETUPメニューで、SEC.PORT (SECONDARY PORT)を選択/確定します。)

関連リンク
「接続方法について」
「SETUPメニュー」

NOTE

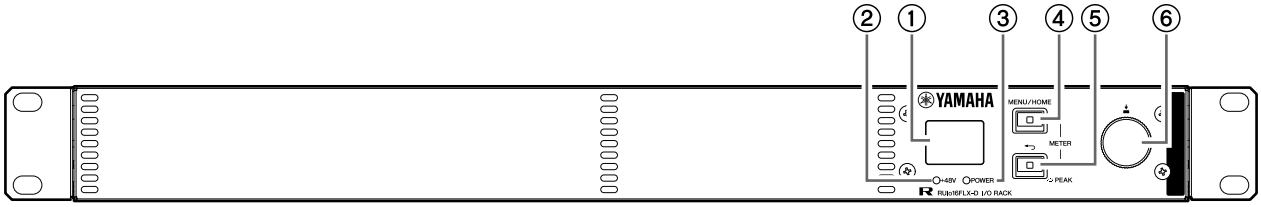
- Neutrik社製のetherCON CAT5eと適合するRJ-45プラグのケーブルをおすすめします。通常のRJ-45プラグも使用できます。
- 接続する機器はDante機器またはギガビットイーサネット対応機器(コンピューターを含む)だけにしてください。
- Danteネットワーク内では、ネットワークスイッチのEEE機能を使用しないでください。EEE機能によってクロック同期性能が悪化して音声が途切れる場合があります。
  詳細は「Danteについて」のNOTEをご参照ください。

⑬ [LINK/ACT]
Dante [PRIMARY]端子とDante [SECONDARY]端子それぞれの通信状態をあらわすインジケーターです。
イーサネットケーブルが正しく接続されている場合には速く点滅します。

⑭ [1G]
Danteネットワークがギガビットイーサネットとして機能しているときに点灯するインジケーターです。

4.3. RUio16FLX-D

4.3.1. フロントパネル



① ディスプレイ
ヘッドアンプなどのパラメーター値やエラー/ステータス情報などを表示します。

② [+48V]
いずれかのINPUTチャンネルでファンタム電源(+48V)の設定がオンのとき、点灯するインジケーターです。
各INPUTチャンネルのファンタム電源のオン/オフは、本体フロントパネルのディスプレイ、または対応機器から切り替えます。オンに設定されているファンタム電源を一時的にオフにしている間は、点灯から点滅に変わります。

関連リンク
「+48V画面」
「INPUTチャンネルのパラメーターを設定する」

警告

ファンタム電源のオン/オフを切り替えるときは、デジタルミキサーの出力コントロールをすべて最小にしてください。大音量が出て、聴力障害、または機器の損傷になることがあります。

ご注意

本製品/外部機器の故障やノイズを防ぐために、ファンタム電源のオン/オフについて、以下に注意してください。

- ファンタム電源が不要な場合はオフにしてください。

- [INPUT]端子または[FLEXIBLE I/O]端子(入力)に、ファンタム電源非対応の機器を接続するときは、オフにしてください。
- オンにしたまま、[INPUT]端子または[FLEXIBLE I/O]端子(入力)でケーブルの抜き差しをしないでください。
- オン/オフは、出力コントロールを最小にした状態で行ってください。
- オン/オフを切り替えるときは、スピーカー保護のために、パワーアンプ(パワードスピーカー)の電源をオフにしてください。

NOTE

機器全体のファンタム電源は常にオンです。ファンタム電源を一時的にオフにする方法については、「+48V画面」のNOTEをご参照ください。

③ [POWER]
本製品の電源がオンのとき点灯するインジケーターです。

④ [MENU/HOME]
ホーム画面がディスプレイに表示されているときにこのキーを押すと、MENU TOP画面が表示され、メニューを選択できます。ホーム画面以外の画面が表示されているときにこのキーを押すとホーム画面が表示されます。

そのほか、下記の機能があります。

■METER画面や+48V画面の表示
[MENU/HOME]キーと[↩](バック)/[PEAK]キー(⑤)を同時に押すと、METER画面や+48V画面が表示されます。

関連リンク
「METER画面 / +48V画面」

■パネルロックの設定や解除するポップアップ画面の表示
[MENU/HOME] キーと[↩](バック)/[PEAK]キー(⑤)を同時に3秒以上長押しすると、パネルロックの設定や解除をするポップアップ画面が表示されます。

関連リンク
「パネルロックする」
「パネルロックを解除する」

■コントラスト/輝度の初期化
[MENU/HOME] キーを長押しすると、コントラスト/輝度が初期化されます。
同時にコントラスト/輝度調整ポップアップ画面が表示されるため、スイッチ付きエンコーダーを回して調整できます。

関連リンク
「コントラスト/輝度を調整する」

■本体の状態を表示
本体の状態を表示します。
正常時および異常時の表示動作を、それぞれ下記のように設定できます。

正常時
点灯する色や、点灯/消灯を変更できます。

点灯	青色に点灯
	緑色に点灯
消灯	点灯しない

異常時
致命的なエラーが発生した場合(エラー)や、異常があるが継続使用が可能な場合(注意)の設定を下記のように選択できます。

点灯	エラー	赤色に点灯 (色は変更できません。)
	注意	橙色に点灯 (色は変更できません。)
点滅	エラー	赤色 + 正常時 の設定 (青色)
		赤色 + 正常時 の設定 (緑色)
		赤色 + 正常時 の設定 (点灯しない)
	注意	橙色 + 正常時 の設定 (青色)
		橙色 + 正常時 の設定 (緑色)
		橙色 + 正常時 の設定 (点灯しない)
異常時の色(赤色、橙色)の消灯(正常時の色として設定した色のみ点灯します。)	エラー / 注意	正常時の色に点灯 (青色)
		正常時の色に点灯 (緑色)
		点灯しない

関連リンク
「[MENU/HOME]キーの正常時の設定を変更する」
「[MENU/HOME]キーのエラー時の設定を変更する」

⑤ [↩](バック)/[PEAK]
このキーを押すと、1つ前の画面が表示されます。また、いずれかのINPUTチャンネルの入力レベルが–3 dBFS以上のとき、赤色に点灯します。
METER画面を表示しているときにこのキーを長押しすると、PEAK HOLD (ピークホールド)がクリアされます。

NOTE

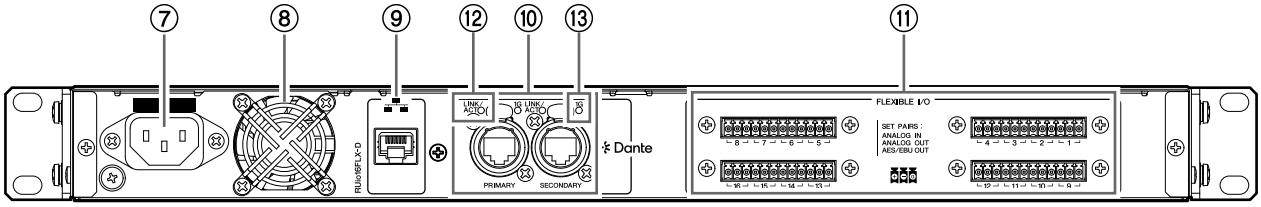
このキーと[MENU/HOME]キーを同時に3秒以上長押しすると、パネルロックの設定や解除をするポップアップ画面が表示されます。(「パネルロックする」、「パネルロックを解除する」をご参照ください。)

⑥ スイッチ付きエンコーダー
このエンコーダーを回すことでメニューやパラメーターを選択し、押すことで選択を確定したり、表示を切り替えたりします。
また、+48V画面を表示しているときにこのエンコーダーを長押しすると、押している間は機器全体のファンタム電源が一時的にオフになります。また、ディスプレイに「+48V ACTIVE TEMPORARY OFF」というメッセージが表示されます。

Device Identify機能

Device Identify機能を使用すると、ディスプレイと[+48V]インジケーターが点滅します。同時に、[MENU/HOME]キーおよび[↩](バック)/[PEAK]キーが緑色に点滅します。
詳細は「ネットワーク接続機器の中から本製品を特定する」をご参照ください。

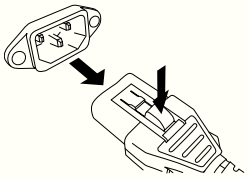
4.3.2. リアパネル



⑦ AC IN端子
付属の電源コードを接続します。まずこの端子と電源コードを接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込むと、電源がオンになります。電源プラグをコンセントから抜くと電源がオフになります。

注意

電源コードを接続するときは、ロックされるまでしっかり奥に差し込んでください。
付属の電源コードはラッチによるロック機構(Vロック)を備えており、電源コードが意図せず外れてしまうことを防ぎます。
電源コードを取り外すときは、電源コードのラッチを押して取り外してください。



ご注意

電源をオフにしてから再度オンにする場合は、6秒以上の間隔を空けてください。電源のオン/オフを連続して素早く切り替えると、誤動作の原因になることがあります。

⑧ 排気口
本製品には冷却用ファンが装備されています。ここから排気されますので、障害物などで排気口をふさがないでください。

注意

本製品の通風孔をふさがないでください。内部の温度上昇を防ぐため、本製品の前面/背面(RUio0804-D、RUio16FLX-D)、側面(RUio1608SB-D)には通風孔があります。通風孔をふさぐと、製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。

⑨ ネットワーク端子
イーサネットケーブル(CAT5以上を推奨)を使用して、コンピューターと接続するRJ-45端子です。

⑩ Dante [PRIMARY]/[SECONDARY]
イーサネットケーブル(CAT5e以上を推奨)を使用して、Dante機器と接続するetherCON (RJ-45)端子です。SECONDARYポート(*)をDAISY CHAINに設定している場合、片方の端子から入った信号をもう片方の端子に送信します。

また、SECONDARYポート(*)をREDUNDANTに設定している場合、Dante [PRIMARY]端子はプライマリー接続用、Dante [SECONDARY]端子はセカンダリー(バックアップ)接続用です。何らかの理由でDante [PRIMARY]端子で伝送できなくなった場合(ケーブルが損傷したり、誤って接続が外れたりした場合、あるいはネットワークスイッチが故障した場合など)には、自動的にDante [SECONDARY]端子に切り替わります。
(* SECONDARYポートの設定画面を表示するには、まずMENU TOP画面でSETUPを選択/確定します。次にSETUPメニューで、SEC.PORT (SECONDARY PORT)を選択/確定します。)

関連リンク

「接続方法について」
「SETUPメニュー」

NOTE

- Neutrik社製のetherCON CAT5eと適合するRJ-45プラグのケーブルをおすすめします。通常のRJ-45プラグも使用できます。
- 接続する機器はDante機器またはギガビットイーサネット対応機器(コンピューターを含む)だけにしてください。
- Danteネットワーク内では、ネットワークスイッチのEEE機能を使用しないでください。EEE機能によってクロック同期性能が悪化して音声が途切れる場合があります。
  詳細は「Danteについて」のNOTEをご参照ください。

⑪ [FLEXIBLE I/O]端子

アナログ信号のバランス入出力と、AES/EBUフォーマットのデジタル信号の出力を切り替えて使用する端子です。INPUTにはラインレベル機器やマイクロフォンを、OUTPUTにはラインレベル機器を接続します。INPUTにはヘッドアンプが内蔵されており、ファンタム電源(+48V)の供給もできます。設定方法は、「SETUPメニュー」の「F16 CONFIG」をご参照ください。また、取り付けについては「ユーロブロックプラグの取り付け」をご参照ください。

⑫ [LINK/ACT]

Dante [PRIMARY]端子とDante [SECONDARY]端子それぞれの通信状態をあらわすインジケーターです。
イーサネットケーブルが正しく接続されている場合には速く点滅します。

⑬ [1G]

Danteネットワークがギガビットイーサネットとして機能しているときに点灯するインジケーターです。

5. 取り付け

5.1. ラックマウントキットの取り付け (RUio1608SB-D)

RUio1608SB-Dは、別売のラックマウントキットRK-RUio1608SBを取り付けて、ラックや設備に固定できます。
RK-RUio1608SBの同梱品は下記です。

- ラックマウント金具L×1
- ラックマウント金具R×1
- ネジ×8

1. 本製品の電源がオフになっていることを確認します。

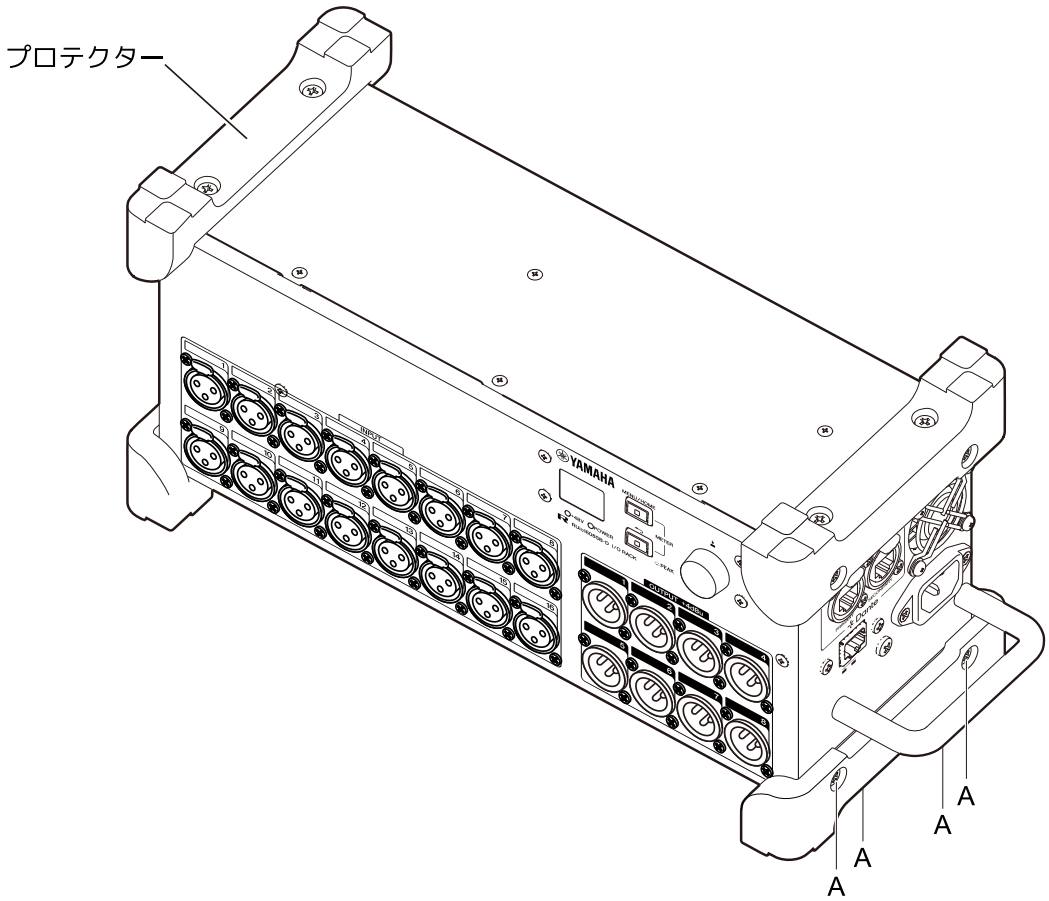
注意

ラックマウントキットを取り付けるときは、作業前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や故障の原因になります。

2. 各プロテクターのネジ(A)を外して、プロテクターを取り外します。

NOTE

プロテクターのネジは、取り外したプロテクターと一緒に保管してください。

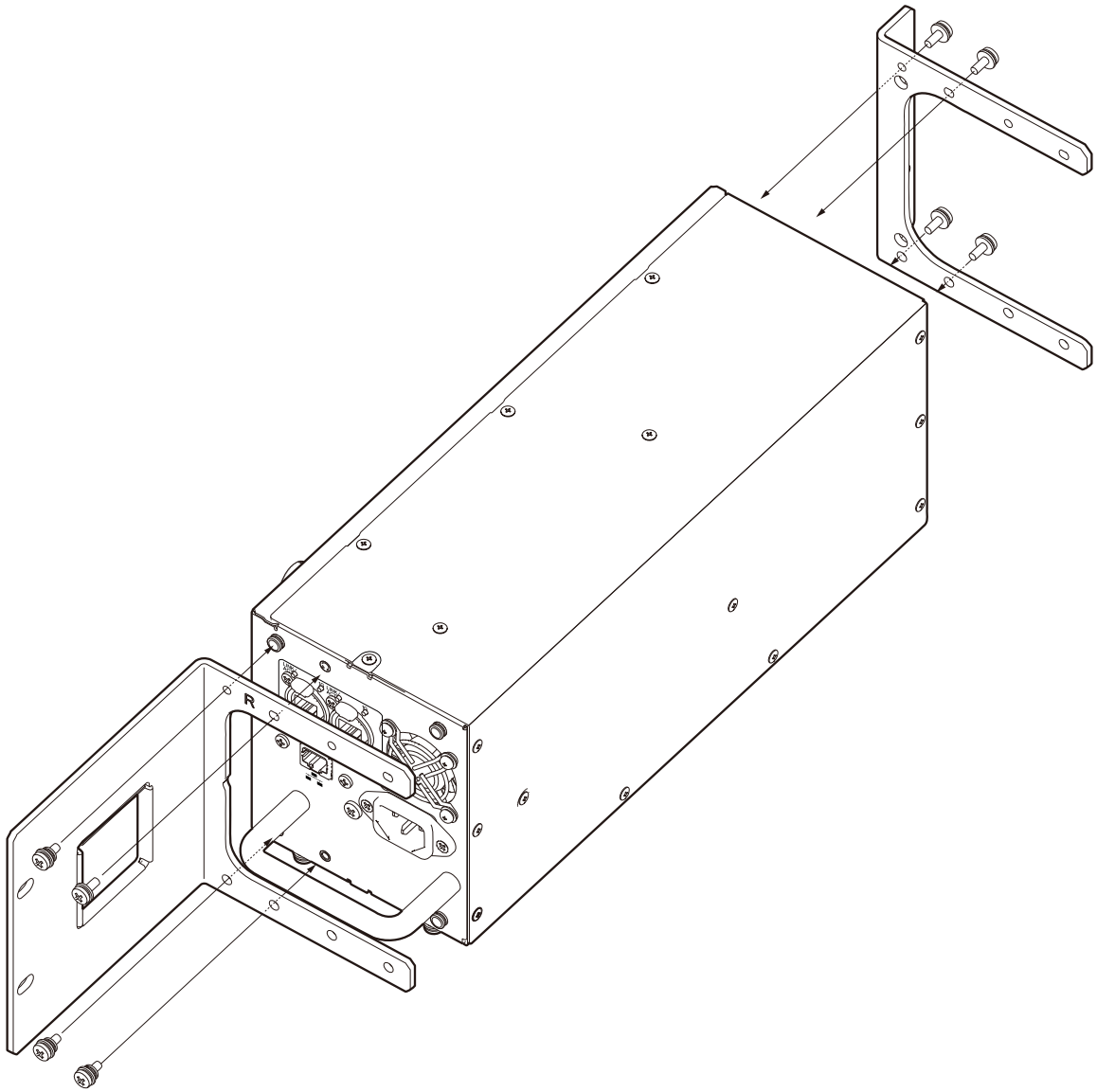


3. ラックマウントキットに同梱のネジを使用して金具を取り付けます。

ご注意

ラックマウントキットを取り付ける際は、ラックマウントキットに同梱のネジをご使用ください。他のネジを使用すると、故障の原因になります。

下図の位置でネジ止めしてください。



ラックマウント時の注意

本製品が動作保証する室温は0～40℃です。本製品を複数台または他の機器と一緒にEIA標準のラックにマウントする場合、各機器からの熱でラック内の温度が上昇し、十分な性能を発揮できないことがあります。本製品に熱がこもらないように、必ず以下の条件でラックにマウントしてください。

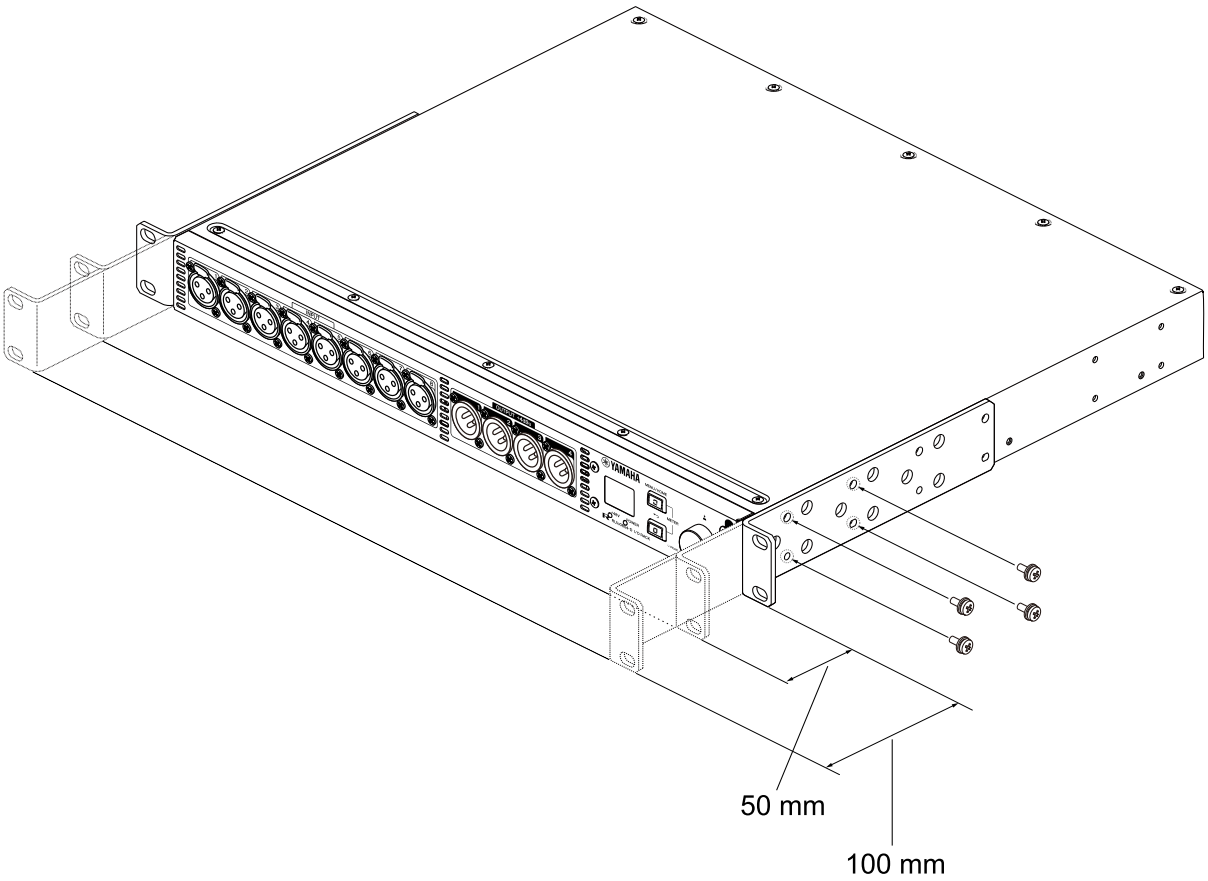
- RUio1608SB-D、RUio0804-D、RUio16FLX-Dを、組み合わせを問わず合計3台以上、すき間を空けずにマウントする場合は、ファン速度をHIGHに設定してください。
- ファン速度をLOWに固定して本製品を複数台マウントする場合は、本製品2台ごとに1U以上のすき間を空けてください。また、このすき間は通風パネルを取り付けたり、開放したりして、十分な通気を確保してください。
- パワーアンプなどの発熱しやすい機器と一緒にマウントする場合は、他の機器との間を空けてくださ

い。また、このすき間は通風パネルを取り付けたり、開放したりして、十分な通気を確保してください。

- ラックの背面を開放して、ラックを壁や天井から10 cm以上離し、十分な通気を確保してください。ラックの背面を開放できない場合は、ラックに市販のファンキットなどの強制換気装置を取り付けてください。ファンキットを取り付けた場合は、ラックの背面を閉じた方が放熱効果が大きくなることもあります。詳しくはファンキットの取扱説明書を参照してください。

5.2. リセスについて (RUio1608SB-D、RUio0804-D)

本製品は、ラックマウント金具の取り付け位置をずらすことで、下図のようにフロントパネル面をラック前面より奥に配置できます。RUio1608SB-D は50 mm、RUio0804-Dは50 mmまたは100 mm奥に配置できます。



リアパネル側にも、同様にラックマウント金具を取り付けることができます(RUio0804-Dのみ)。

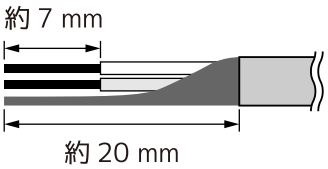
NOTE

金具を取り付けるときは、必ず取り外したネジをそのままご使用ください。

5.3. ユーロブロックプラグの取り付け (RUio16FLX-D)

[FLEXIBLE I/O]端子には付属のユーロブロックプラグを使って接続します。

事前処理 (ケーブルの処理)

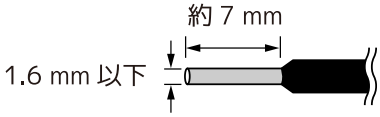


ユーロブロックプラグに取り付けるケーブルは、図のようにむき出して配線してください。また、ユーロブロックでの配線は、ケーブルの重さや振動によって金属疲労が発生し、断線しやすくなる場合があります。ケーブルは付属の結束バンドでユーロブロックプラグのタブに固定してください。ラックマウント時は、なるべく束線バーなどを使用してケーブルを結束して固定してください。

注意

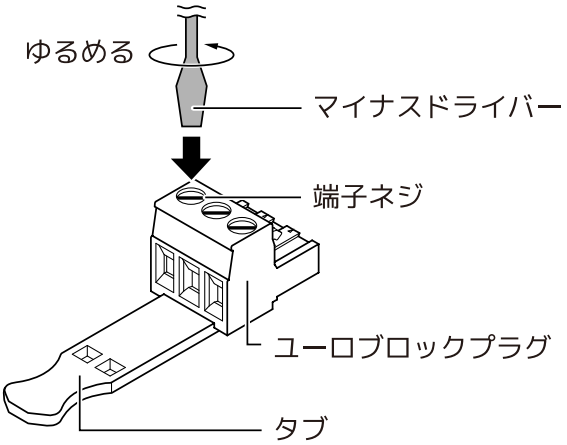
より線を使用する場合は、より線にはんだめっきしないでください。

可搬設備などで頻繁に抜き差しする場合は、絶縁スリーブ付き棒端子の使用をおすすめします。棒端子のコンダクター部は以下のものをご使用ください。



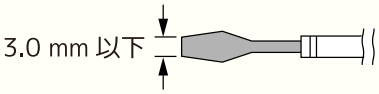
取り付け方法

1. 端子のネジをゆるめます。

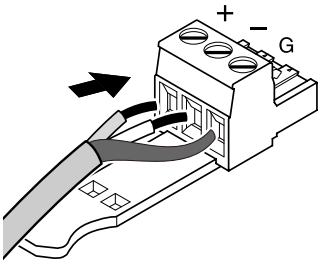


NOTE

マイナスドライバーは3 mm以下のものをご使用ください。

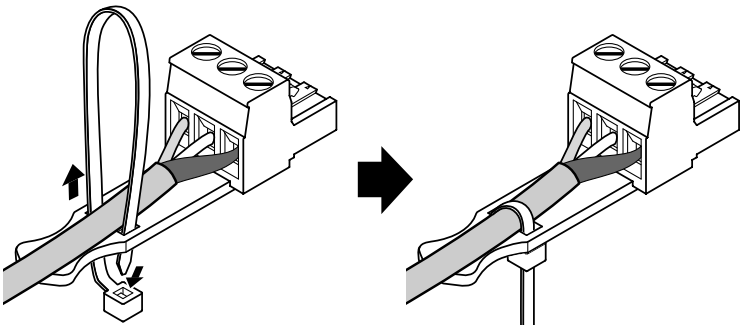


2. ケーブルを差し込みます。

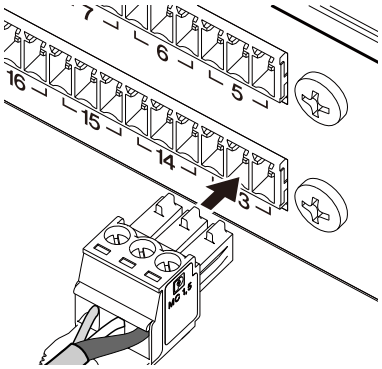


3. 端子ネジをしっかりと締め付けます。
ケーブルを引っ張って抜けないことを確認してください。

4. 付属の結束バンドを使ってケーブルをタブに固定します。

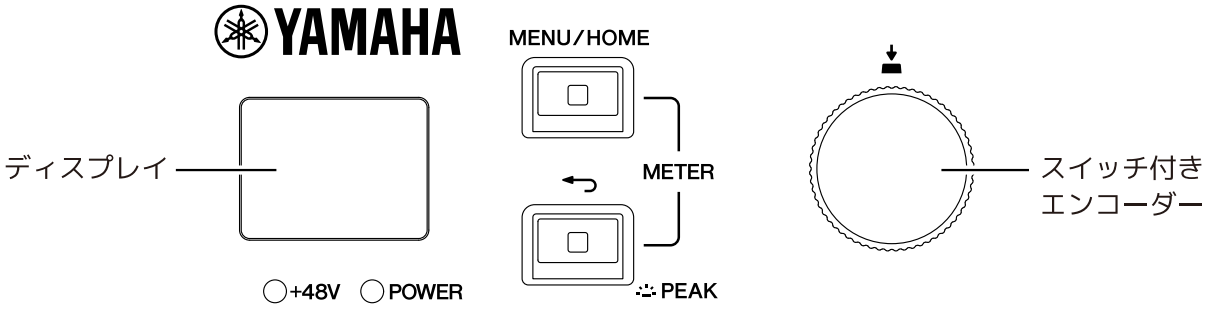


5. ユーロブロックプラグを本体の[FLEXIBLE I/O]端子に装着します。



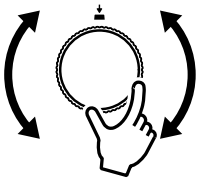
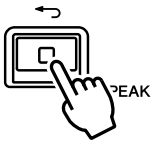
6. 基本操作

6.1. パネル操作



フロントパネルのディスプレイ、[MENU/HOME]キー、[⮌](バック)/[PEAK]キー、スイッチ付きエンコーダーを使用して、さまざまなパラメーターを設定します。

基本操作は下記をご参照ください。

選択		スイッチ付きエンコーダーを回します。(選択中のパラメーターは反転表示されます。)
確定		スイッチ付きエンコーダーを押します。
1つ前の画面に移動		[⮌](バック)/[PEAK]キーを押します。

6.2. エラー表示

6.2.1. エラーポップアップ画面

エラーが発生したときに表示されます。

例：

また、ホーム画面でERRORアイコン(⚠)が表示されているとき、このアイコンを選択/確定すると表示されます。

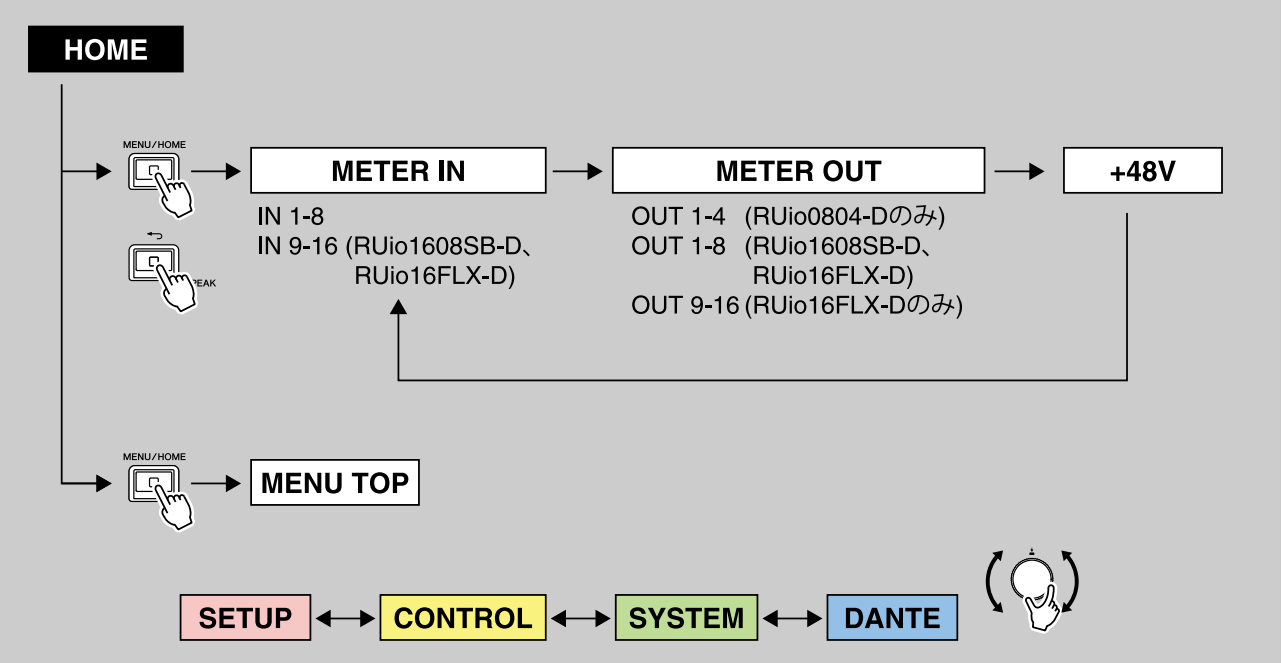
例：

エラーポップアップ画面が表示されたときは、スイッチ付きエンコーダーを押すか、[↩](バック)/[PEAK]キーを押すと、表示される前の画面に戻ります。

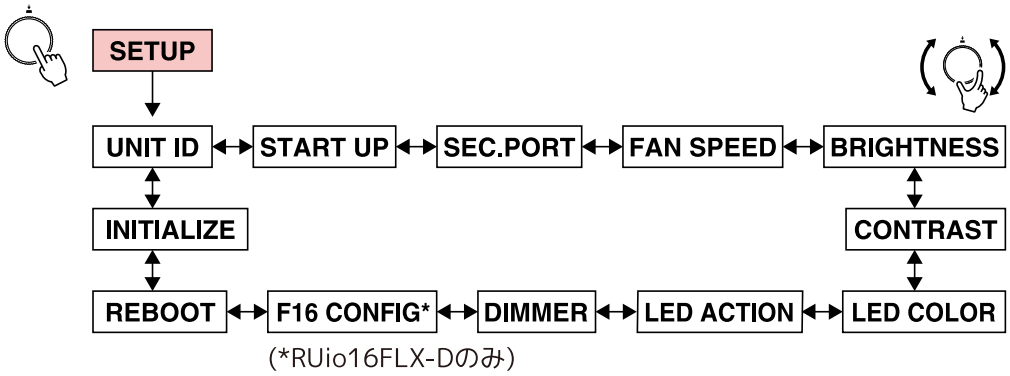
エラーのメッセージ一覧は、「メッセージ一覧」をご参照ください。

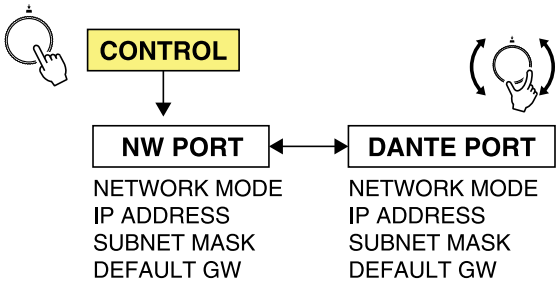
7. 画面

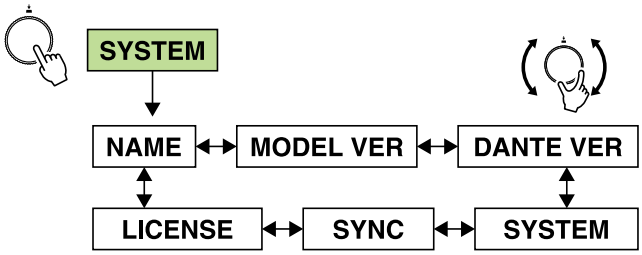
7.1. 画面構成

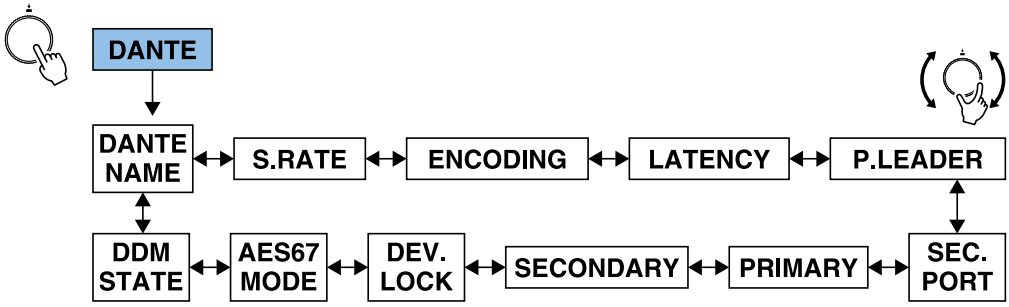


7.1.1. MENU TOP画面のメニュー









7.2. ホーム画面

UNIT ID、本製品の品番、ステータスバーが表示されます。

電源スイッチをオンにすると表示されます。
また、どの画面からでも[MENU/HOME]キーを押すと表示されます。

① UNIT ID
ホーム画面上段にはUNIT ID(本体のID)を表示します。UNIT IDは初期値がY001です。Y000～Y07Fで設定できます。UNIT IDはSETUPメニューのUNIT IDで設定できます(「SETUPメニュー」参照)。UNIT IDの変更は、デバイスラベル(先頭4文字の末尾2桁)にもすぐに反映されます。

② デバイスラベル
ホーム画面中段には、デバイスラベルの一部を表示します。先頭の5文字Y0##- (##はUNIT ID)およびYamaha-は表示されません。初期値は品番の10文字まで(RUio1608SB、RUio0804-D、またはRUio16FLX-)です。デバイスラベルはDante Controllerから設定できます。デバイスラベルは以下のように付けてください。

- 先頭のUNIT ID部分の5文字Y0##-は変更しないでください。変更しても、強制的にY0##-に修正されます。

- 文字数は全体として31文字までとしてください。

③ ステータスバー
ホーム画面下段にはステータスバーを表示します。ステータスバーには本製品の状態によってアイコンが表示されます。表示されるアイコンは6種類あります。表示されているアイコンを、スイッチ付きエンコーダーを回して選択し、押して確定するとアイコンの概要が表示されます。

NOTE

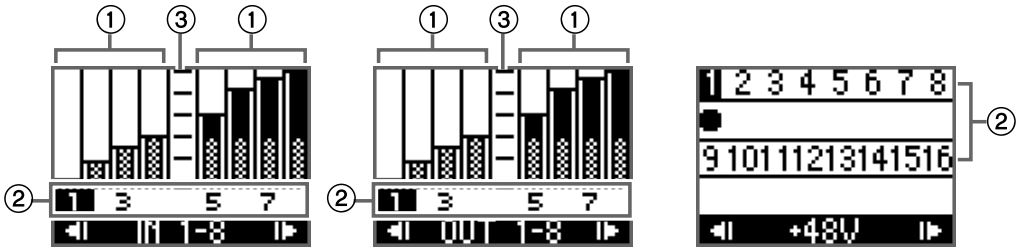
PANEL LOCKとREMOTE ONLYのアイコンは同じ場所にどちらかが表示されます。どちらも有効になっている場合は、PANEL LOCKアイコンが表示されます。

下記の状態のとき、ステータスバーにアイコンが表示されます。

アイコン	状態	備考
ERROR (エラー)	エラーが発生しています。	[MENU/HOME]キーがアイコンの表示と同時に点灯/点滅します。この設定は変更できます。 「[MENU/HOME]キーのエラー時の設定を変更する」、「[MENU/HOME]キーの正常時の設定を変更する」をご参照ください。
INFORMATION (インフォメーション)	お知らせがあります。	
PANEL LOCK (パネルロック)	パネルロック中です。	• パネルロック中で、かつREMOTE ONLYに設定されている場合、PANEL LOCKアイコンを優先して表示します。 • [MENU/HOME]キーと[↩](バック)/[PEAK]キーを同時に3秒間押し続けると、パネルロックを解除できます。
RO REMOTE ONLY (リモートオンリー)	HAのパラメーターが読み取り専用です。	• コンソールなどの対応機器からのみパラメーター操作する場合の設定です。 • 設定のオン/オフも対応機器から行います。 • REMOTE ONLYの状態でも、SETUPメニューは変更できます。
MUTE (ミュート)	ミュート状態(全ポート一括)です。	START UPモードで起動時のミュート設定を変更できます。「SETUPメニュー」、または「起動時のミュート設定を変更する」をご参照ください。
DAISY CHAIN (デイジーチェーン)	SECONDARYポートがDAISY CHAINに設定されています。	SEC.PORT (SECONDARY PORT)でREDUNDANTに変更できます。「SETUPメニュー」をご参照ください。

7.3. METER画面 / +48V画面

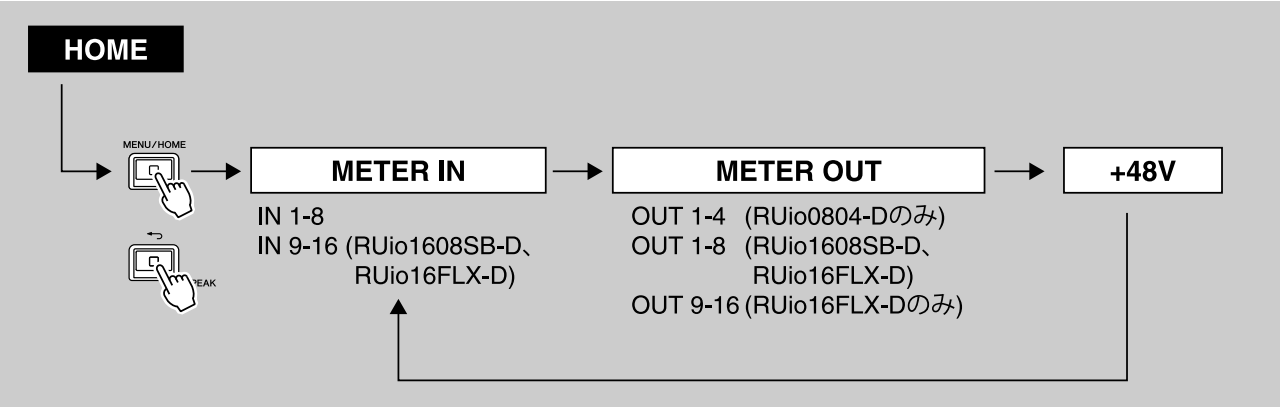
METER画面には、IN、OUTがあります。各画面でレベルメーターを表示します。+48V画面では、ファンタム電源(+48V)のオン/オフをチャンネルごとに切り替えます。



① レベルメーター
各チャンネルのレベルメーターを表示します。

② チャンネル番号
スイッチ付きエンコーダーを回してチャンネル番号を選択できます。選択しているチャンネル番号は反転表示されます。

③ 指標
上から0、−6、−12、−18、−24、−40 dBです。



ホーム画面が表示されているとき[MENU/HOME]キーと[⮌](バック)/[PEAK]キーを同時に繰り返し押すと、METER IN画面やMETER OUT画面が表示され、その後に+48V画面が表示されます。

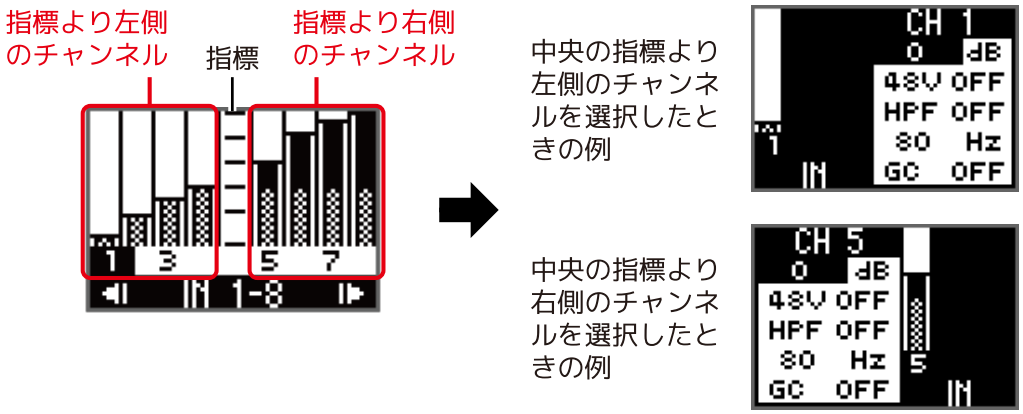
NOTE

- RUio1608SB-Dの場合は、[MENU/HOME]キーと[⮌](バック)/[PEAK]キーを同時に押すたびに、IN 1-8画面、IN 9-16画面、OUT 1-8画面、+48V画面が切り替わります。
- RUio0804-Dの場合は、[MENU/HOME]キーと[⮌](バック)/[PEAK]キーを同時に押すたびに、IN 1-8画面、OUT 1-4画面、+48V画面が切り替わります。
- RUio16FLX-Dの場合は、[MENU/HOME]キーと[⮌](バック)/[PEAK]キーを同時に押すたびに、IN 1-8画面、IN 9-16画面、OUT 1-8画面、OUT 9-16画面、+48V画面が切り替わります。
- スイッチ付きエンコーダーを回してチャンネル番号を選択する際、回し続けると次の画面に切り替わります。

7.3.1. METER IN

METER IN画面では、チャンネル番号を選択/確定するとパラメーター編集画面が表示されます。HAゲイン値、+48V ON/OFF、HPF ON/OFF、HPFカットオフ周波数、GC (Gain Compensation、ゲイン補正機能)

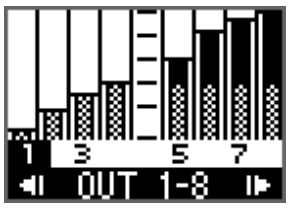
ON/OFFを設定します。



関連リンク
「INPUTチャンネルのパラメーターを設定する」

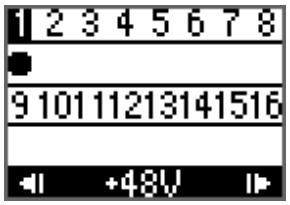
7.3.2. METER OUT

METER OUT画面では、パラメーターの編集はできません。



7.3.3. +48V 画面

+48V画面では、チャンネル番号を選択/確定すると、チャンネル番号の下に● が表示され、選択したチャンネル番号のファンタム電源(+48V)がオンになります。いずれかのINPUTチャンネルでファンタム電源がオンの場合、フロントパネルの[+48V]インジケーターが点灯します。



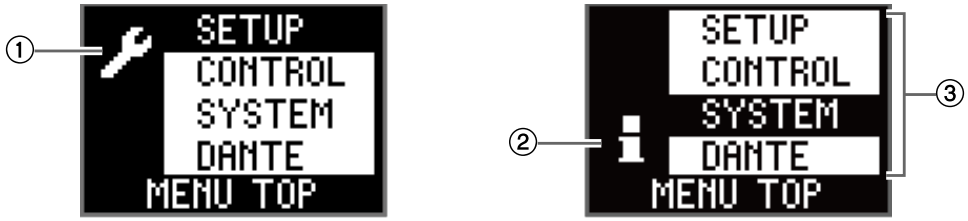
再度スイッチ付きエンコーダーを押すと● が消え、ファンタム電源がオフになります。すべてのINPUTチャンネルでこの設定がオフの場合、[+48V]インジケーターが消灯します。

NOTE

- 機器全体のファンタム電源は、常にオンの状態です。
- +48V画面を表示しているときにスイッチ付きエンコーダーを長押しすると、押している間は機器全体のファンタム電源が一時的にオフになります。また、ディスプレイに「+48V ACTIVE TEMPORARY OFF」というメッセージが表示されます。
  このとき、ファンタム電源をオンに設定していたチャンネルがあった場合は、[+48V]インジケーターが点灯から点滅に変わります。
- 対応機器が接続されている状態でファンタム電源が一時的にオフとなった場合は、対応機器でファンタム電源がオフであることが表示されます。

7.4. MENU TOP画面

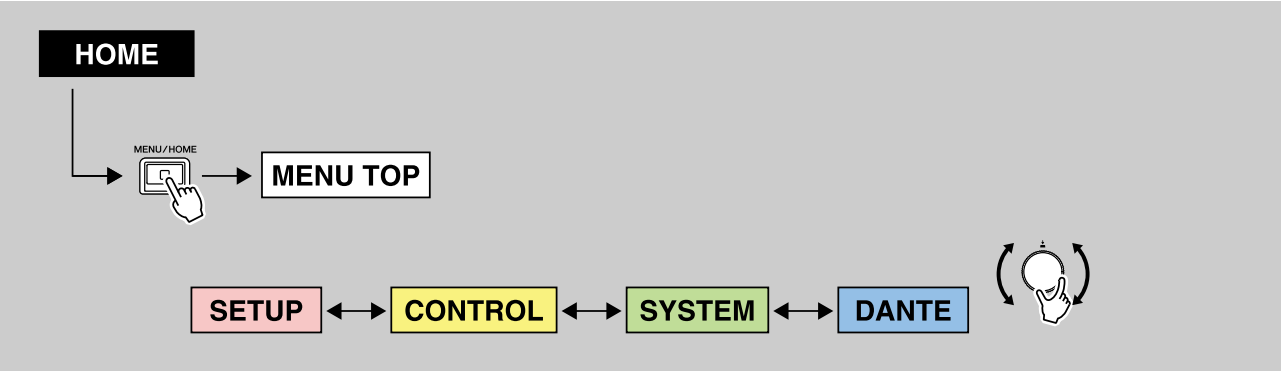
メニューを選択する画面です。



① セットアップアイコン
設定ができるSETUPメニュー、CONTROLメニューを選択しているときに表示されます。

② インフォメーションアイコン
情報の閲覧ができるSYSTEMメニュー、DANTEメニューを選択しているときに表示されます。

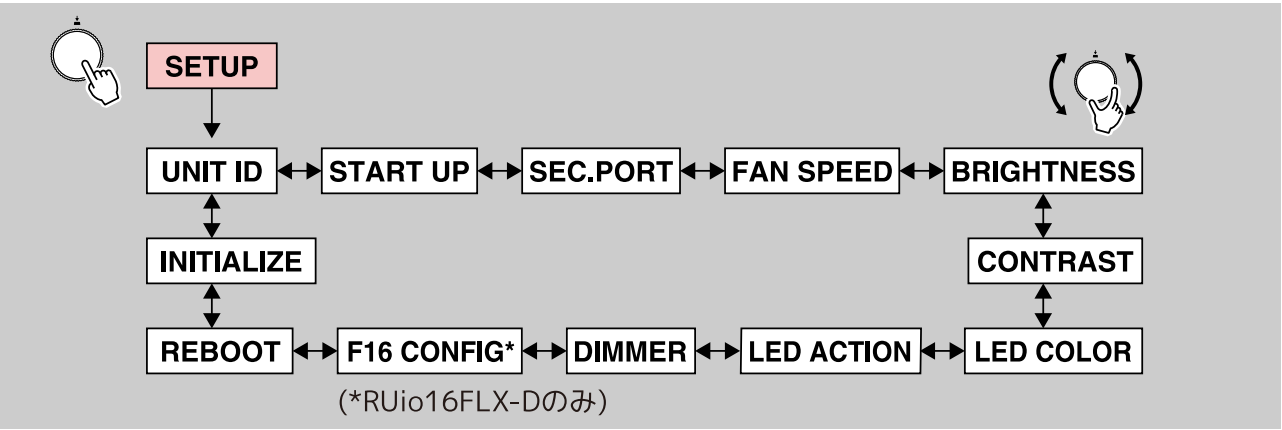
③ メニュー
メニューを表示しています。SETUP、CONTROL、SYSTEM、DANTEから選択します。



ホーム画面が表示されているとき[MENU/HOME]キーを押すと、MENU TOP画面が表示されます。スイッチ付きエンコーダーを回してメニューを選択し、押して確定します。

7.4.1. SETUPメニュー

本体に関する現在の各種セットアップ設定値を表示します。



SETUP画面で、スイッチ付きエンコーダーを回してパラメーターを選択し、押して確定します。

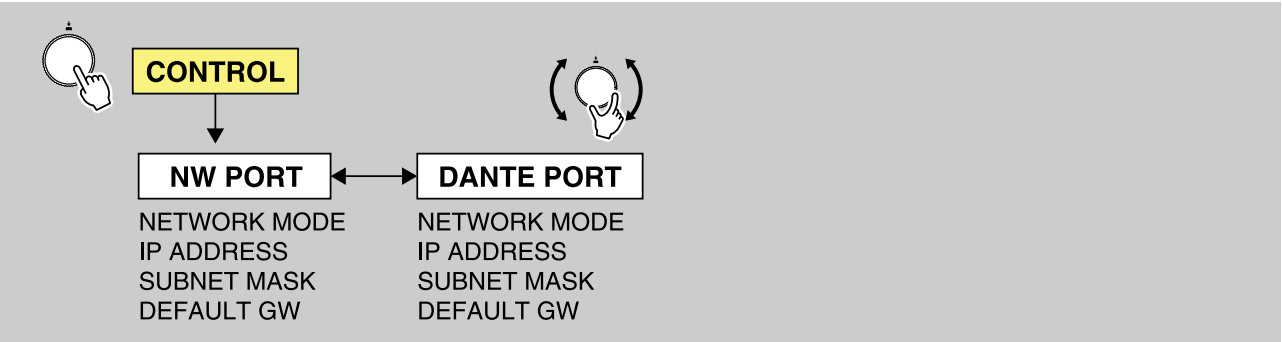
選択可能な項目とパラメーターの内容、設定できる値は以下の通りです。

項目	内容	設定値(「*」は初期値)
UNIT ID	本体のIDを設定します。	Y000(0)〜Y07F(127) Y001*
START UP	起動時のHAパラメーター設定を選択します(START UPモード)。設定が有効になるのは、次回起動時です。 対応機器からHAパラメーターを制御する場合は、REFRESH with MUTEに設定することをおすすめします。対応機器が設定を送り込むまで音声の入出力がミュートされるので、不用意に音声を出力することがありません。 REFRESH with MUTE: HAパラメーターを初期化して起動します。対応機器からのHAパラメーター設定が完了するまで入出力がミュートされます。 RESUME w/o MUTE: 前回電源をオフにする前の状態で起動します。入出力がミュートされません。 REFRESH w/o MUTE: HAパラメーターを初期化して起動します。初期値はREFRESH with MUTEの場合と同じです。ただし、入出力がミュートされません。	REFRESH with MUTE*、RESUME w/o MUTE、REFRESH w/o MUTE
SEC.PORT (SECONDARY PORT)	SECONDARYポートの動作モードを設定します。	DAISY CHAIN*、REDUNDANT
FAN SPEED	ファンの回転速度を設定します。	LOW*、HIGH
BRIGHTNESS	ディスプレイ、[MENU/HOME]キー、[↩](バック)/[PEAK]キーの輝度を設定します。 [MENU/HOME]キーを長押しすると、コントラスト/輝度が初期化されます。同時にコントラスト/輝度調整ポップアップ画面が表示されるため、スイッチ付きエンコーダーを回して調整できます。	0〜20 20*
CONTRAST	ディスプレイのコントラストを設定します。 [MENU/HOME]キーを長押しすると、コントラスト/輝度が初期化されます。同時にコントラスト/輝度調整ポップアップ画面が表示されるので、スイッチ付きエンコーダーを回して調整できます。	0〜20 10*
LED COLOR	[MENU/HOME]キーの表示色を設定します。	OFF、GREEN*、BLUE
LED ACTION	[MENU/HOME]キーに出すエラー表示を設定します。	OFF、BLINK、ON*
DIMMER	バックライト消灯までの時間を設定します。 (DIMMERが有効な場合、ディスプレイの輝度は最大10です。設定値が10以下の場合は、その値が表示されます。)	10 sec、30 sec*、1 min、3 min、30 min、NEVER

項目	内容	設定値(「*」は初期値)
F16 CONFIG (RUio16FLX-Dのみ)	RUio16FLX-DのINPUT、OUTPUT、AES OUTポートの割り当てを設定します。INPUTの数値を変更すると、OUTPUTの数値が自動的に変更されます。OUTPUTの数値を設定すると、AES OUTには残りの数値が割り当てられます。割り当て数が確定すると、コンファメーションメッセージが表示されます。[OK]を押すと、RUio16FLX-Dが再起動されます。	INPUT: 16*、OUTPUT: 0*、AES OUT: 0* ・INPUT、OUTPUT、AES OUTの割り当て合計は16まで。 ・2チャンネル単位で数値を変更でき、偶数を割り当てられる。
REBOOT	再起動するコンファメーションを表示します。	RESTART THE SYSTEM
INITIALIZE	初期化対象メモリーを選択し、スイッチ付きエンコーダーを押すとコンファメーションメッセージが表示されます。[OK]を押すことで初期化を実行します。 FACTORY PRESET: 本製品を工場出荷時の状態に戻します。 CURRENT PARAMETERS: HAパラメーターを初期化します。 DANTE SETTINGS: Dante設定を初期化します。 **NOTE** 手順は「初期化する」をご参照ください。	FACTORY PRESET*、CURRENT PARAMETERS、DANTE SETTINGS

7.4.2. CONTROLメニュー

本体の２つのイーサネットポートの設定値を確認および編集できます。
NW PORT(ネットワークポート)やDANTE PORT(Danteポート)で通信することにより、R Remoteやプロビジョネアから本製品を制御できます。Dante回線とコントロール回線を分けて扱いたいとき、NW PORT(ネットワークポート)とDANTE PORT(Danteポート)は同時に使用できます。



CONTROL画面で、スイッチ付きエンコーダーを回してパラメーターを選択し、押して確定します。

NOTE

- NW PORTとDANTE PORTのネットワークアドレスは、重複しないようにしてください。同じアドレスに設定すると、エラーメッセージが出ます。
- NW PORTとDante PRIMARY/SECONDARYのネットワークアドレスは、重複しないようにしてください。同じアドレスに設定すると、エラーメッセージが出ます。
- DEFAULT GATEWAYは2つ以上設定しないようにしてください。2つ以上設定しても1つしか有効になりません。

◆NW PORT (ネットワークポート)
コントロール回線としてネットワークポートを使用します。通信方法については、「通信方法」の(3)をご参照ください。
選択可能な項目とパラメーターの内容、設定できる値は以下の通りです。

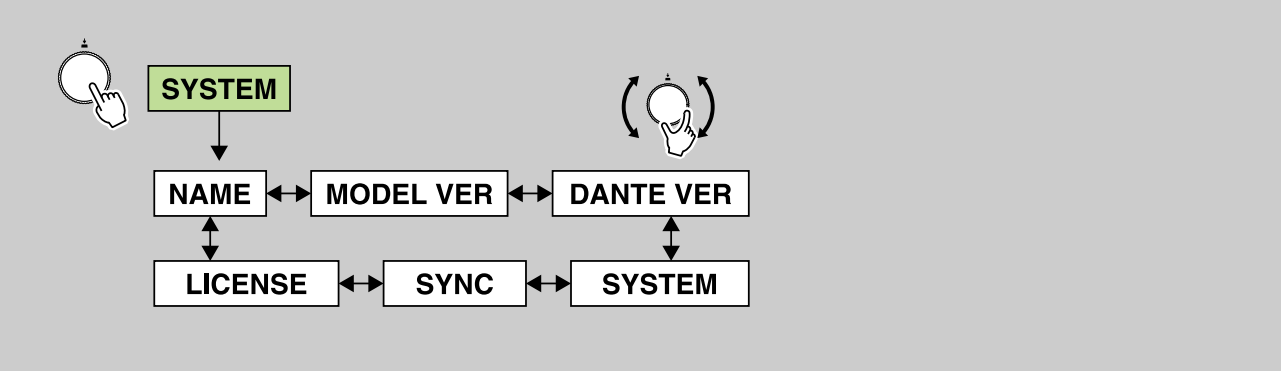
項目	内容	設定値(「*」は初期値)
NETWORK MODE	ネットワークポート用のIPアドレス設定モードを選択します。このIPアドレスは、コンピューターなどから本体をリモートコントロールしたり、ファームウェアアップデートをしたりするときに使用します。	DHCP、STATIC IP*
IP ADDRESS	ネットワークポートのIPアドレスを設定します。 (STATIC IP設定時)	192.168.0.2* DHCPの際は現在値表示
SUBNET MASK	ネットワークポートのSUBNET MASKを設定します。 (STATIC IP設定時)	255.255.255.0* DHCPの際は現在値表示
DEFAULT GW	ネットワークポートのDEFAULT GATEWAYを設定します。 (STATIC IP設定時)	192.168.0.1* DHCPの際は現在値表示

◆DANTE PORT (Danteポート)
コントロール回線としてDanteポートを使用します。通信方法については、「通信方法」の(2)をご参照ください。
選択可能な項目とパラメーターの内容、設定できる値は以下の通りです。

項目	内容	設定値(「*」は初期値)
NETWORK MODE	Danteポート用のIPアドレス設定モードを選択します。このIPアドレスは、コンピューターなどから本体をリモートコントロールしたり、ファームウェアアップデートをしたりするときに使用します。	DHCP*、STATIC IP
IP ADDRESS	Danteポートのコントロールの IPアドレスを設定します。 (STATIC IP設定時)	(DHCPもしくはリンクローカルにより決定)*
SUBNET MASK	DanteポートのSUBNET MASKを設定します。 (STATIC IP設定時)	(DHCPもしくはリンクローカルにより決定)*
DEFAULT GW	DanteポートのDEFAULT GATEWAYを設定します。 (STATIC IP設定時)	(DHCPもしくはリンクローカルにより決定)*

7.4.3. SYSTEMメニュー

本体のバージョンやSYSTEM/SYNCステータスを表示します。



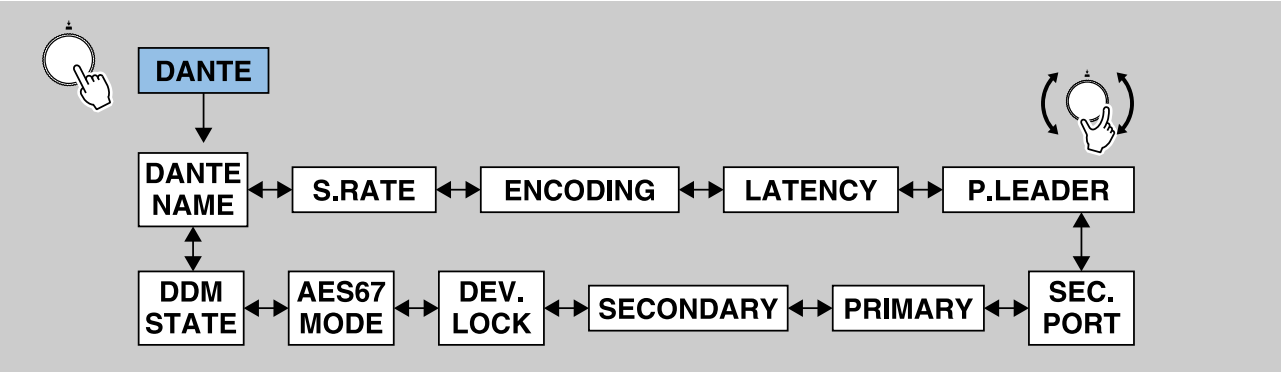
SYSTEM画面で、スイッチ付きエンコーダーを回してパラメーターを選択します。

表示項目は以下の通りです。本製品では設定の変更はできません。

項目	内容
NAME	Danteデバイスラベルを表示します。
MODEL VER	本製品のファームウェアバージョンを表示します。
DANTE VER	Danteバージョンを表示します。(Danteファームウェアバージョン、FPGAバージョン、Yamahaソフトウェアバージョン)
SYSTEM	本製品のシステムステータスを表示します。表示されるメッセージについては、「SYSTEMメッセージ」をご参照ください。
SYNC	本製品の同期状態を表示します。表示されるメッセージについては、「SYNCメッセージ」をご参照ください。
LICENSE	オープンソースライセンスを表示します。スイッチ付きエンコーダーを押すことでライセンス文が選択されます。ライセンス文を選択しているときにスイッチ付きエンコーダーを回すとライセンス文をスクロールできます。

7.4.4. DANTEメニュー

Danteに関する設定情報を表示します。



DANTE画面で、スイッチ付きエンコーダーを回してパラメーターを選択します。

表示項目は以下の通りです。本製品では設定の変更はできません。

項目	内容
DANTE NAME	Danteデバイスラベルを表示します。 デバイスラベルはDante Controllerから設定できます。以下のように設定してください。 ・先頭の5文字Y0##- (##はUNIT ID)は変更しないでください。変更しても、強制的にY0##-に修正されます。 ・全体として31文字までとしてください。
S.RATE (SAMPLE RATE)	サンプリング周波数(Fs)設定およびPull-Up/Down状態を表示します。
ENCODING	ビット深度を表示します。24ビット、32ビットに対応します。 初期値は24ビットです。Dante Controllerから設定変更できます。
LATENCY	レイテンシー値を表示します。0.25 ms、0.5 ms、1.0 ms、2.0 ms、5.0 msに対応します。 (DDMドメイン参加時は、10 ms、20 ms、40 msが追加選択可能)初期値は1.0 msです。Dante Controllerから設定変更できます。
P.LEADER (PREFERRED LEADER)	PREFERRED LEADERの設定状態(ON/OFF)を表示します。 (DDMドメイン参加時は、- (ハイフン)を表示)
SEC.PORT (SECONDARY PORT)	SECONDARYポートの動作モードの設定を表示します。
PRIMARY	PRIMARYポートのリンク状態/リンクスピード、IPアドレスを表示します。
SECONDARY	SECONDARYポートのリンク状態/リンクスピード、IPアドレスを表示します。
DEV.LOCK	DANTE DEVICE LOCKの設定状態(ON/OFF)を表示します。
AES67 MODE	AES67 MODEの設定状態(ENABLE/DISABLE)を表示します。
DDM STATE	DDMドメイン参加状態およびController Permissionsを表示します。 ・- (DDM接続なし) ・READ/WRITE ・READ ONLY ・DISCONNECT (DDMドメイン参加状態でDDMとの接続がない場合)

8. 操作

8.1. コントラスト/輝度を調整する

ディスプレイのコントラスト(CONTRAST)や、ディスプレイ、[MENU/HOME]キー、[↩](バック)/[PEAK]キーの輝度(BRIGHTNESS)を以下の２通りの方法で設定できます。

8.1.1. [MENU/HOME]キーを長押しする方法

1. [MENU/HOME]キーを長押しします。(どの画面でも操作できます。)
コントラスト/輝度調整ポップアップ画面が表示され、設定できるパラメーターが反転表示されます。また、CONTRASTとBRIGHTNESSが初期値に戻ります。(CONTRAST: 10、BRIGHTNESS: 20)

2. [MENU/HOME]キーを押し続けながら、スイッチ付きエンコーダーを押して、設定するパラメーターをCONTRASTかBRIGHTNESSで選択します。
スイッチ付きエンコーダーを押すたびにパラメーターの選択が切り替わります。

3. [MENU/HOME]キーを押し続けながら、スイッチ付きエンコーダーを回してパラメーター値を変更します。
スイッチ付きエンコーダーを左に回すと小さい値、右に回すと大きい値になります。パラメーター値はすぐに反映されます。

8.1.2. SETUPメニューのBRIGHTNESS、CONTRASTから設定する方法

1. MENU TOP画面で、スイッチ付きエンコーダーを回してSETUPを選択し、押して確定します。

2. SETUPメニューで、スイッチ付きエンコーダーを回してBRIGHTNESSまたはCONTRASTを選択し、押して確定します。

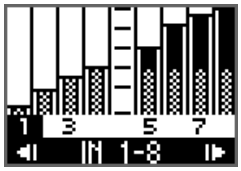
3. スイッチ付きエンコーダーを回して数値を選択し、押して確定します。

関連リンク
「SETUPメニュー」

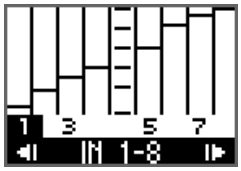
8.2. PEAK HOLD (ピークホールド)をクリアする

PEAK HOLD (ピークホールド)は常にオンの状態です。

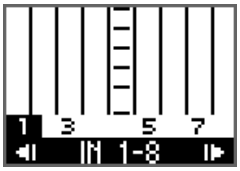
METER画面が表示されているときに、[⮌](バック)/[PEAK]キーを長押しすると、すべてのポートに対してHOLDしているPEAKがクリアされます。



メーターが振れているとき



メーターは振れていないがPEAK HOLD バーのみ表示されているとき



PEAK HOLD をクリアしたとき

8.3. パネルロックする

誤操作などによるパラメーターの変更を防ぐために、パネル操作をロックできます。パネルロックを設定している場合でも対応機器からのパラメーター操作は可能です。

本体動作中に、[MENU/HOME]キーと[⮌] (バック)/[PEAK]キーを同時に3秒以上押し続けます。

「FRONT PANEL LOCKED」というメッセージが表示されます。また、ホーム画面のステータスバーにPANEL LOCKアイコンが表示されます。

NOTE

- 電源を入れ直したときもこの状態は維持します。
- パネルロック状態で電源をオフにして強制初期化(*)する場合は、パネルロックは解除されます。
  * 本体を初期化する方法の1つです。[MENU/HOME]キーと[⮌](バック)/[PEAK]キーを同時に押しながら電源をオンして初期化します。「強制初期化する方法」をご参照ください。

8.4. パネルロックを解除する

パネルロック状態で、[MENU/HOME]キーと[⮌] (バック)/[PEAK]キーを同時に3秒以上押し続けます。
「FRONT PANEL UNLOCKED」というメッセージが表示され、パネルロックが解除されます。また、ホーム画面のPANEL LOCKアイコンが非表示になります。

関連リンク
「ホーム画面」

8.5. [MENU/HOME]キーの正常時の設定を変更する

正常時の点灯/消灯や色の設定を変更できます。
各設定内容については、「各部の名称と機能」の[MENU/HOME]をご参照ください。

1. MENU TOP画面で、スイッチ付きエンコーダーを回してSETUPを選択し、押して確定します。

2. SETUPメニューで、スイッチ付きエンコーダーを回してLED COLORを選択し、押して確定します。

3. スイッチ付きエンコーダーを回して、OFF(点灯しない)、GREEN(緑色に点灯)、BLUE(青色に点灯)から選択し、押して確定します。

関連リンク
「SETUPメニュー」

8.6. [MENU/HOME]キーのエラー時の設定を変更する

エラーや注意時の点灯/点滅/消灯の設定を変更できます。
各設定内容については、「各部の名称と機能」の[MENU/HOME]をご参照ください。

1. MENU TOP画面で、スイッチ付きエンコーダーを回してSETUPを選択し、押して確定します。

2. SETUPメニューで、スイッチ付きエンコーダーを回してLED ACTIONを選択し、押して確定します。

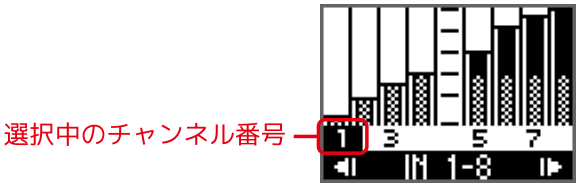
3. スイッチ付きエンコーダーを回して、OFF (点灯しない)、BLINK (点滅)、ON (点灯)から選択し、押して確定します。

関連リンク
「SETUPメニュー」

8.7. INPUTチャンネルのパラメーターを設定する

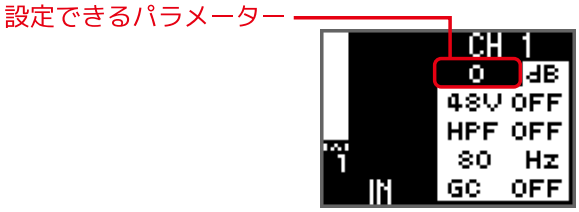
HAゲイン値(0 dB〜+64 dB)、+48V (ファンタム電源) ON/OFF、HPF ON/OFF、HPFカットオフ周波数(20.0 Hz〜600 Hz)、GC (Gain Compensation、ゲイン補正機能) ON/OFFを設定します。

1. METER IN画面で、スイッチ付きエンコーダーを回してチャンネル番号を選択します。



2. スイッチ付きエンコーダーを押してパラメーター編集画面を表示します。

設定できるパラメーターが反転表示されます。



NOTE

パラメーター編集画面で[↩] (バック)/[PEAK]キーを押すとMETER IN画面に戻ります。

3. スイッチ付きエンコーダーを繰り返し押して設定したいパラメーターまで移動し、回してパラメーター値を変更します。

パラメーターの変更はすぐに反映されます。

NOTE

- [↩] (バック)/[PEAK]キーを押すと、METER IN画面に戻ります。
- GCは、OFFからONへの変更が確定されると、該当チャンネルのHAゲイン値がコンペンセーションゲイン値として設定されます。また、ONからOFFへの変更が確定されると、コンペンセーションゲイン値がHAゲイン値となります。

4. パラメーターの設定が終わったら、[↩](バック)/[PEAK]キーを押すとMETER IN画面に戻ります。

関連リンク
「METER IN」

9. 起動時のミュート設定を変更する

本製品を購入後、最初に起動して使用する際は、HAパラメーター設定を受信するまで入出力がミュートされます。

NOTE

「SYNCHRONIZING WITH CONSOLE OR CONTROLLER」というメッセージが画面に表示されます(「SYNCメッセージ」参照)。また、ホーム画面にはMUTEアイコン(🔇)が表示されます。

これは、START UPモードが初期設定のREFRESH with MUTEとなっているためです。

START UPモードで起動時のミュート設定を変更できます。

1. MENU TOP画面で、スイッチ付きエンコーダーを回してSETUPを選択し、押して確定します。

2. SETUPメニューで、スイッチ付きエンコーダーを回してSTART UP (START UPモード)を選択し、押して確定します。

3. スイッチ付きエンコーダーを回して、REFRESH with MUTE、RESUME w/o MUTE、またはREFRESH w/o MUTEから選択します。

9.1. REFRESH with MUTE (初期設定)

HAパラメーターを初期化して起動します。対応機器からのHAパラメーター設定を受信するまで入出力がミュートされます。

NOTE

対応機器からHAパラメーター制御する場合は、設定を受信するまで不用意に音声を出力することを防ぐため、この設定にすることをおすすめします。

9.2. RESUME w/o MUTE

前回電源をオフにする前の状態で起動します。入出力がミュートされません。

9.3. REFRESH w/o MUTE

HAパラメーターを初期化して起動します。初期値はREFRESH with MUTEの場合と同じです。ただし、入出力がミュートされません。

関連リンク
「SETUPメニュー」

10. 初期化する

10.1. 本体の初期化 (工場出荷時の状態に戻す)

本製品を工場出荷時の設定に戻すには2通りの方法があります。

■ 強制初期化する方法

本体の内蔵メモリーにエラーが起きて操作できなくなった場合は、以下のように操作してください。

1. 本体の電源をオフにします。

2. [MENU/HOME]キーと[↩](バック)/[PEAK]キーを同時に押しながら電源をオンにした状態で、ホーム画面が表示されるのを待ちます(約20秒)。
「FACTORY INITIALIZE ACCEPTED!」というメッセージが表示され、本体の初期化が開始されます。

NOTE

パネルロックした状態で初期化の操作を行った場合は、パネルロックが解除されます。

3. 「INITIALIZE DONE. REBOOT?」というメッセージが表示されたらスイッチ付きエンコーダーを回してOKを選択し、押して確定すると本体が再起動します。

NOTE

初期化完了後は、本体の再起動を行ってからご使用ください。

■ ディスプレイでFACTORY PRESETを設定する方法

1. MENU TOP画面で、スイッチ付きエンコーダーを回してSETUPを選択し、押して確定します。

2. SETUPメニューで、スイッチ付きエンコーダーを回してINITIALIZEを選択し、押して確定します。

3. スイッチ付きエンコーダーを回してFACTORY PRESETを選択します。

4. 「FACTORY PRESET INITIALIZE?」というメッセージが表示されたら、スイッチ付きエンコーダーを回してOKを選択し、押して確定します。
本体の初期化が開始されます。

NOTE

スイッチ付きエンコーダーを回してCANCELを選択し、押して確定すると、初期化は開始されず元の画面に戻ります。

5. 「INITIALIZE DONE. REBOOT?」というメッセージが表示されたら、スイッチ付きエンコーダーを回してOKを選択し、押して確定すると本体が再起動します。

NOTE

初期化完了後は、本体の再起動を行ってからご使用ください。

関連リンク
「SETUPメニュー」

10.2. カレントパラメーターの初期化

HAパラメーター値を工場出荷時の状態に戻す場合は、以下のように操作してください。

1. MENU TOP画面で、スイッチ付きエンコーダーを回してSETUPを選択し、押して確定します。

2. SETUPメニューで、スイッチ付きエンコーダーを回してINITIALIZEを選択し、押して確定します。

3. スイッチ付きエンコーダーを回してCURRENT PARAMETERSを選択します。

4. 「CURRENT PARAMETERS INITIALIZE?」というメッセージが表示されたら、スイッチ付きエンコーダーを回してOKを選択し、押して確定します。
HAパラメーター値の初期化が開始されます。

NOTE

スイッチ付きエンコーダーを回してCANCELを選択し、押して確定すると、初期化は開始されず元の画面に戻ります。

関連リンク
「SETUPメニュー」

10.3. Dante設定の初期化

Danteパラメーター値を工場出荷時の状態に戻す場合は、以下のように操作してください。

1. MENU TOP画面で、スイッチ付きエンコーダーを回してSETUPを選択し、押して確定します。

2. SETUPメニューで、スイッチ付きエンコーダーを回してINITIALIZEを選択し、押して確定します。

3. スイッチ付きエンコーダーを回してDANTE SETTINGSを選択します。

4. 「DANTE SETTINGS INITIALIZE?」というメッセージが表示されたら、スイッチ付きエンコーダーを回してOKを選択し、押して確定します。
Dante設定の初期化が開始されます。

NOTE

スイッチ付きエンコーダーを回してCANCELを選択し、押して確定すると、初期化は開始されず元の画面に戻ります。

関連リンク
「SETUPメニュー」

10.4. 工場出荷時の初期値

工場出荷時の初期値に関しては、下記をご参照ください。

パラメーター			初期値
SETUP		UNIT ID	Y001
		START UP (START UPモード)	REFRESH with MUTE
		SEC.PORT (SECONDARY PORT)	DAISY CHAIN
		FAN SPEED	LOW
		BRIGHTNESS	20
		CONTRAST	10
		LED COLOR	GREEN
		LED ACTION	ON
		DIMMER	30 sec
		F16 CONFIG (RUio16FLX-Dのみ)	IN:16、OUT: 0、AES: 0
CONTROL	NW PORT	NETWORK MODE	STATIC IP
		IP ADDRESS	192.168.0.2
		SUBNET MASK	255.255.255.0
		DEFAULT GW	192.168.0.1
CONTROL	DANTE PORT	NETWORK MODE	DHCP
		IP ADDRESS	(DHCPもしくはリンクローカルにより決定)
		SUBNET MASK	(DHCPもしくはリンクローカルにより決定)
		DEFAULT GW	(DHCPもしくはリンクローカルにより決定)
HAパラメーター		HAゲイン	0 dB
		+48V	OFF
		HPF	OFF、80 Hz
		GC (GAIN COMPENSATION)	OFF、0 dB

パラメーター		初期値
Dante設定	Sample Rate	96 kHz (follower)、 Pull-up/down = None*1
	Latency	1.0 msec
	Encoding	PCM 24-bit
	Dante Redundancy	Switched
	IP Address	Auto
	Device Label	Y001-Yamaha-RUio1608SB-D-nnnnnn*2 Y001-Yamaha-RUio0804-D-nnnnnn*2 Y001-Yamaha-RUio16FLX-D-nnnnnn*2
	Channel Label	<Channel番号>
	AES67 Mode	Disabled
	Device Lock	Unlock

*1 Sample Rate の初期値は96 kHz です。96 kHz に対応していない製品(CL、QL シリーズなど)と組み合わせる場合はご注意ください。
*2 nnnnnnはDante Primary MAC Addressの下6桁です。

11. 外部機器からの操作

11.1. デバイスラベルを設定する

デバイスラベルはDante Controllerから設定できます。

デバイスラベル
ホーム画面中段には、デバイスラベルの一部を表示します。先頭の5文字Y0##- (##はUNIT ID)およびYamaha-は表示されません。

デバイスラベルは以下のように付けてください。

- 先頭の5文字Y0##- (Y0##はUNIT ID)は変更しないでください。変更しても、強制的にY0##-に修正されます。
- 文字数は全体として31文字までとしてください。

11.2. ネットワーク接続機器の中から本製品を特定する

複数あるネットワーク接続機器の中から、本製品を特定するためには、対応機器やDante ControllerからDevice Identifyを指示します。

対応機器から指示する場合
対応機器からDevice Identifyの指示が行われた場合、ミキサーではタッチしている間、R Remoteではマウスを押し込んでいる間のみ、本体フロントパネルのディスプレイと[+48V]キーが点滅します。同時に[MENU/HOME]キーおよび[⮌] (バック)/[PEAK]キーが緑色に点滅します。

Dante Controllerから指示する場合
Dante ControllerからDevice Identifyの指示が行われた場合、10秒間本体フロントパネルのディスプレイと[+48V]キーが点滅します。同時に[MENU/HOME]キーおよび[⮌] (バック)/[PEAK]キーが緑色に点滅します。

11.3. Remote Onlyをオン/オフする

Remote Onlyは、意図しないパラメーター値の変更を防ぐため、本製品のフロントパネルからパラメーターの設定変更をできないようにする機能です。
本製品を起動したときは常にオフの状態です。

NOTE

- Remote Onlyがオンの場合も、SETUPメニュー項目(SETUP、CONTROL)の変更は可能です。
- Remote Onlyがオンの場合も、対応機器からのパラメーター操作は可能です。

オンにするには

本製品と対応機器が同期する際に、対応機器で設定します。Remote Onlyがオンのときに対応機器との接続が切れた場合でも、Remote Onlyはオンの状態を維持します。
Remote Onlyがオンのときは、本製品のディスプレイに表示されるホーム画面にREMOTE ONLYアイコンが表示されます。

オフにするには

対応機器で設定を解除するか、本製品の電源を一度切ってから、再度起動します。
Remote Onlyをオフにすると、REMOTE ONLYアイコンが表示されなくなります。

11.4. 外部機器からのコントロール

本製品と接続された対応機器のディスプレイには本製品の品番とUNIT IDが表示されてコントロールできます。
対応機器に接続してモニター/コントロールする場合については、各対応機器の取扱説明書をご参照ください。

11.4.1. モニター/コントロールできるパラメーター

「*」が付いているパラメーターはWith Recallに該当します。With Recallは、コンソールでシーンリコールを行うときにコンソールに保持されているHAパラメーターを本製品に反映する機能です。

パラメーター	内容
HAゲイン値*	ゲインを0 dB～+64 dBまで、1 dB単位で調整できます。
+48V ON/OFF*	+48Vファンタム電源のオン/オフをチャンネルごとに切り替えます。
HPF ON/OFF*	ハイパスフィルターのオン/オフを切り替えます。
HPFカットオフ周波数*	ハイパスフィルター(12 dB/octave)のカットオフ周波数を20 Hzから600 Hzの間の60段階で設定できます。
GC ON/OFF*	Gain Compensation機能のオン/オフを切り替えます。
REMOTE ONLY ON/OFF	Remote Onlyのオン/オフを切り替えます。
アナログ入力レベルメーターの表示	チャンネルごとにレベルメーター(アナログ入力)を表示します。
アナログ出力レベルメーターの表示	チャンネルごとにレベルメーター(アナログ出力)を表示します。
デジタル出力レベルメーターの表示(RUio16FLX-Dのみ)	チャンネルごとにレベルメーター(デジタル出力)を表示します。
ファームウェアバージョンの表示	ファームウェアバージョンを表示します。
Device Identify指示	複数あるネットワーク接続機器の中から、対象となる本製品を特定します。

パラメーター	内容
SYSTEM/SYNCのステータス表示とメッセージ表示	SYSTEM/SYNCのステータス情報通知とメッセージによる通知を行います。

11.4.2. 通信方法

本製品のパラメーターをコントロールする通信方法には3つあります。

通信方法	パラメーターのコントロールに使用する端子	詳細
(1) Danteオーディオ信号にコントロール信号を重畳させる方法 ＜Dante＞	Dante [PRIMARY]端子、Dante [SECONDARY]端子	・本製品1台に対して4台までのコントローラーからコントロールが可能 ・Redundantに対応。
(2) Dante [PRIMARY]端子を使用してネットワーク通信でコントロールする方法 ＜モニター、リモート＞	Dante [PRIMARY]端子	・本製品1台に対して6台までのコントローラーからコントロール可能 ・Redundantに非対応。 **NOTE** Dante PRIMARYアドレスを使用しない場合は、DANTE PORTのNETWORK MODEとIP ADDRESSのサブネットをコントローラーの外部デバイスコントロール用のアドレス設定と合わせてください。
(3) ネットワーク端子を使用してネットワーク通信でコントロールする方法 ＜モニター、リモート＞	ネットワーク端子	・本製品1台に対して6台までのコントローラーからコントロール可能 ・Redundantに非対応。

12. 資料

12.1. メッセージ一覧

フロントパネルのディスプレイにSYSTEM/SYNC/エラー/ワーニング/インフォメーション/コンファメーションの各メッセージを表示します。

12.1.1. SYSTEMメッセージ

SYSTEMメッセージで示されるステータス表示は、本製品の動作状態をお知らせします。

NOTE

- 下表でIDが空白の場合、ディスプレイにはメッセージのみ表示されます。

ID	本製品での表示	R Remoteでの表示	内容	対策方法
	NORMAL	---	正常起動中です。	---
E00-003	DANTE MODULE ERROR!	DANTE module error!	Danteモジュールにエラーが発生しました。	本体を再起動してください。
E00-004	ILLEGAL MAC ADDRESS! (CONTACT US)	Illegal MAC Address!	MACアドレス設定が壊れたため、通信ができません。	修理ご相談センター(*)にご連絡ください。
E00-005	UNIT FAN HAS MALFUNCTIONED! (CONTACT US)	Unit Fan has Malfunctioned!	冷却ファンが停止しました。	ファンに異物がはさまっていないか確認してください。それでも問題が解消されない場合は、修理ご相談センター(*)にご連絡ください。
E00-006	MEMORY ERROR!	Memory Error.	不揮発メモリーからの読み込みに失敗しました。	前回動作時に保存した情報が消えているので、再設定が必要です。
E00-009	VERSION MISMATCH WITH DANTE MODULE!	Version mismatch.	本体ファームウェアとDanteファームウェアの組み合わせが間違っています。本体ファームウェアと対応デジタルミキサーのファームウェアの組み合わせが間違っています。	互換バージョンに揃えてください。
E00-010	DANTE AUDIO RESOURCE OVERFLOW!	DANTE audio resource overflow.	Danteのフロー数が制限を超えました。	不要なルーティングを無くしたり、ユニキャストではなくマルチキャストを使って効率化するなどして、Danteのオーディオルーティングを見直してください。

* 修理ご相談センターについては、本製品の「はじめにお読みください」をご参照ください。

12.1.2. SYNCメッセージ

SYNCメッセージで示されるステータス表示は、Danteネットワークの状態をお知らせします。

NOTE

- 下表でIDが空白の場合、ディスプレイにはメッセージのみ表示されます。

ID	メッセージ	内容	説明または対策方法
	NORMAL	ワードクロックフォロワーとして正常に機能しています。	機器がワードクロックフォロワーであることを示します。
	DANTE WORDCLOCK LEADER	ワードクロックリーダーとして正常に機能しています。	機器がワードクロックリーダーであることを示します。
	SYNCHRONIZING WITH CONSOLE OR CONTROLLER	Danteネットワーク内の同期処理中です。	起動終了もしくは同期が完了するまでお待ちください。完了するまで最大45秒かかることがあります。
E01-003	WRONG WORDCLOCK!	ワードクロックの設定が間違っています。	対応デジタルミキサーまたはDante Controllerでクロックリーダーとサンプリング周波数を正しく設定してください。
E01-004	DANTE PORT DOES NOT HAVE CONNECTION!	Danteネットワークの回線が繋がっていません。	イーサネットケーブルが抜けていないか、または断線していないか確認してください。
E01-005	DANTE CONNECTION ERROR!	Danteネットワークの結線が間違っているため、他のDante機器が発見できません。	イーサネットケーブルの結線が正しいかどうか確認してください。
E01-006	DANTE IS NOT WORKING BY GIGA BIT!	ギガビットイーサネットに対応していない機器が接続されています。	Danteでの音声伝送をする場合は、ギガビットイーサネットに対応した機器をご使用ください。
E01-007	DANTE IS WORKING AT SECONDARY!	リダンダントネットワークのとき に、Dante[SECONDARY]端子で通信をしています。	Dante [PRIMARY]端子に接続されている方の回線を確認してください。
E01-008	ERROR OCCURRED AT SECONDARY PORT!	リダンダントネットワークのとき に、Dante[SECONDARY]端子に接続されている回線に異常が発生しました。	Dante [SECONDARY]端子に接続されている方の回線を確認してください。

ID	メッセージ	内容	説明または対策方法
E01-010	DANTE IS NOT WORKING BY GIGA BIT!	ワードクロックリーダーとして機能しています。ギガビットイーサネットに対応していない機器が接続されています。	機器がワードクロックリーダーであることを示します。Danteでの音声伝送をする場合は、ギガビットイーサネットに対応した機器をご使用ください。
E01-011	DANTE IS WORKING AT SECONDARY!	ワードクロックリーダーとして機能しています。リダンダントネットワークのときに、Dante[SECONDARY]端子で通信をしています。	機器がワードクロックリーダーであることを示します。Dante [PRIMARY]端子に接続されている方の回線を確認してください。
E01-012	ERROR OCCURRED AT SECONDARY PORT!	ワードクロックリーダーとして機能しています。リダンダントネットワークのときに、Dante[SECONDARY]端子に接続されている回線に異常が発生しました。	機器がワードクロックリーダーであることを示します。Dante [SECONDARY]端子に接続されている方の回線を確認してください。

12.1.3. エラーメッセージ

メッセージ	内容	対策方法
HAAD HARD ERROR!	HAADの異常を検出しました。	繰り返し発生する場合は、修理ご相談センター(*)にご連絡ください。

* 修理ご相談センターについては、本製品の「はじめにお読みください」をご参照ください。

12.1.4. ワーニングメッセージ

メッセージ	内容	対策方法
DANTE DEVICE LOCK IS ENABLED!	Dante Device Lock中に、本体のUNIT IDや、SECONDARY PORTといったDante設定を変更しようとしました。	Dante Controllerを使ってDanteDevice Lockを解除してください。
DANTE DDM LOCAL POLICY IS READ ONLY!	DDMのLocal Policy (ローカルポリシー)がRead Only (読み取り専用)に設定されているときに、本体のUNIT IDや、SECONDARYPORTといったDante設定を変更しようとしました。	DDMの設定アプリケーションを使ってLocal PolicyのRead Onlyを解除してください。
IP ADDRESS DUPLICATED	同一ネットワーク上に同じIPアドレスが存在します。 (このメッセージは、V1.0では対応していません。)	IPアドレスの競合を解消してください。
SAME NET ADDR! (NW PORT & DNT PORT ***)	ネットワークポートとDanteポートのネットワークアドレスが競合しています。	ネットワークアドレスの競合を解消してください。

メッセージ	内容	対策方法
SAME NET ADDR! (NW PORT & DNT PRI ***)	ネットワークポートとPRIMARYポートのネットワークアドレスが競合しています。	ネットワークアドレスの競合を解消してください。
SAME NET ADDR! (NW PORT & DNT SEC ***)	ネットワークポートとSECONDARYポートのネットワークアドレスが競合しています。	ネットワークアドレスの競合を解消してください。
SAME NET ADDR! (DNT PORT & NW PORT ***)	Danteポートとネットワークポートのネットワークアドレスが競合しています。	ネットワークアドレスの競合を解消してください。
SAME NET ADDR! (DNT PORT & DNT PRI ***)	DanteポートとPRIMARYポートのネットワークアドレスが競合しています。	ネットワークアドレスの競合を解消してください。
SAME NET ADDR! (DNT PORT & DNT SEC ***)	DanteポートとSECONDARYポートのネットワークアドレスが競合しています。	ネットワークアドレスの競合を解消してください。

「***」の部分に競合するネットワークアドレスが表示されます。

12.1.5. インフォメーションメッセージ

メッセージ	内容
FRONT PANEL LOCKED	パネルロック中です。
FRONT PANEL UNLOCKED	パネルロックを解除しました。
REMOTE ONLY LOCAL CONTROL IS DISABLED	INPUT/OUTPUTチャンネルのパラメーターが読み取り専用です。
AUDIO MUTED NO SYNC WITH MIXER OR APP	ミュート状態です。
DAISY CHAIN SECONDARY PORT	SECONDARYポートがDAISY CHAINに設定されています。
FACTORY INITIALIZE ACCEPTED!	本体の初期化(工場出荷時の状態に戻す)を開始しました。
+48V ACTIVE TEMPORARY OFF	ファンタム電源が一時的にオフの状態です。

12.1.6. コンファメーションメッセージ

メッセージ	内容
FACTORY PRESET INITIALIZE?	本体の初期化(工場出荷時の状態に戻す)を開始しますか？
INITIALIZE DONE. REBOOT?	本体の初期化(工場出荷時の状態に戻す)を完了しました。再起動しますか？
CURRENT PARAMETERS INITIALIZE?	HAの初期化を開始しますか？
DANTE SETTINGS INITIALIZE?	Dante設定の初期化を開始しますか？
RESTART THE SYSTEM?	本体を再起動しますか？

12.2. 一般仕様

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

		RUio1608SB-D	RUio0804-D	RUio16FLX-D
アナログ入力数		16	8	16
アナログ出力数		8	4	16
AES/EBU出力		0	0	16
サンプリング周波数		44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz ±200 ppm +4.1667%, +0.1%, -0.1%, -4.0% ±200 ppm		
シグナルディレイ		Less than 1.7 ms @Fs=96 kHz, 2.0 ms @Fs=48 kHz Analog INPUT to analog OUTPUT of this product via DM5 over Dante Dante Receive Latency set to 0.25 ms		
電源電圧		100〜240 V、50 Hz / 60 Hz		
消費電力		40 W	30 W	45 W
放熱量		35 kcal/h	26 kcal/h	39 kcal/h
寸法	**W×H×D**	374×170×145 mm	480×44×369 mm	
質量		3.5 kg	3.7 kg	4.0 kg
NC値 *1	**Fan Speed LOW**	20	20	20
	Fan Speed HIGH	25	25	25
外装色近似マンセル値		N5 (RUio0804-D、RUio16FLX-D: フロントパネルのみ)		
動作温度範囲		0°C〜40°C		
保管温度範囲		−20°C〜60°C		
付属品		はじめにお読みください×1、電源コード×1、ユーロブロックプラグ 3ピン×16 (RUio16FLX-Dのみ)、結束バンド×16 (RUio16FLX-Dのみ)		

*1 測定位置: 本体正面から1 m

12.3. オーディオ特性

測定時、信号発生器の出力インピーダンスは150 Ωです。出力負荷インピーダンスは10 kΩです。
RUio1608SB-DとRUio0804-Dで仕様が異なる場合、RUio0804-Dのみの仕様については{ }でくくって表記します。

12.3.1. 周波数特性

Fs=96 kHz or Fs=48 kHz @20 Hz–20 kHz, reference to the nominal output level @1 kHz

RUio1608SB-D、RUio0804-D

入力	出力	RL	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
INPUT 1–16 {1–8}	OUTPUT 1–8 {1–4}	10 kΩ	GAIN: +64 dB	–1.5	0.0	0.5	dB

RUio16FLX-D

入力	出力	RL	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
INPUT 1–16	OUTPUT 1–16	10 kΩ	GAIN: +64 dB	–1.5	0.0	0.5	dB

12.3.2. 全高調波歪率

Fs=96 kHz or Fs=48 kHz

RUio1608SB-D、RUio0804-D

入力	出力	RL	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
INPUT 1–16 {1–8}	OUTPUT 1–8 {1–4}	10 kΩ	+4 dBu @20 Hz–20 kHz, GAIN: +64 dB			0.15	%
INPUT 1–16 {1–8}	OUTPUT 1–8 {1–4}	10 kΩ	+4 dBu @20 Hz–20 kHz, GAIN: 0 dB			0.05	%

* 全高調波歪率の測定には、80 kHz、48 dB/octave のローパスフィルターを用いています。

RUio16FLX-D

入力	出力	RL	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
INPUT 1–16	OUTPUT 1–16	10 kΩ	+4 dBu @20 Hz–20 kHz, GAIN: +64 dB			0.15	%
INPUT 1–16	OUTPUT 1–16	10 kΩ	+4 dBu @20 Hz–20 kHz, GAIN: 0 dB			0.05	%

* 全高調波歪率の測定には、80 kHz、48 dB/octave のローパスフィルターを用いています。

12.3.3. ハム&ノイズ

Fs=96 kHz or Fs=48 kHz

RUio1608SB-D、RUio0804-D
EIN=Equivalent Input Noise

入力	出力	RL	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
INPUT 1–16 {1–8}	OUTPUT 1–8 {1–4}	10 kΩ	Rs=150 Ω, GAIN: +64 dB		–128 EIN		dBu
					–64		dBu
INPUT 1–16 {1–8}	OUTPUT 1–8 {1–4}	10 kΩ	Rs=150 Ω, GAIN: 0 dB		–85	–83	dBu

入力	出力	RL	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
All Inputs	OUTPUT 1–8 {1–4}	10 kΩ	Rs=150 Ω, GAIN: 0 dB Main fader at nominal level and all INPUT 1–16 {1–8} in faders at nominal level. Measured with DM5 (or DM5 Compact) through Dante.			–71 {–74}	dBu
-	OUTPUT 1–8 {1–4}	10 kΩ	Residual output noise, Main stereo channel off.		–90	–88	dBu

* ハム＆ノイズレベルの測定にはA-weightフィルターを用いています。

RUio16FLX-D
EIN=Equivalent Input Noise

入力	出力	RL	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
INPUT 1–16	OUTPUT 1–16	10 kΩ	Rs=150 Ω, GAIN: +64 dB		–128 EIN		dBu
					–64		dBu
INPUT 1–16	OUTPUT 1–16	10 kΩ	Rs=150 Ω, GAIN: 0 dB		–85	–83	dBu
All Inputs	OUTPUT 1–16	10 kΩ	Rs=150 Ω, GAIN: 0 dB Main fader at nominal level and all INPUT 1–16 in faders at nominal level. Measured with DM5 (or DM5 Compact) through Dante.			–71	dBu
-	OUTPUT 1–16	10 kΩ	Residual output noise, Main stereo channel off.		–90	–88	dBu

* ハム＆ノイズレベルの測定にはA-weightフィルターを用いています。

12.3.4. ダイナミックレンジ

Fs=96 kHz or Fs=48 kHz

RUio1608SB-D、RUio0804-D

入力	出力	RL	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
INPUT 1–16 {1–8}	OUTPUT 1–8 {1–4}	10 kΩ	AD+DA, GAIN: 0 dB		109		dB
-	OUTPUT 1–8 {1–4}	10 kΩ	DA Converter		114		dB

* ダイナミックレンジの測定にはA-weightフィルターを用いています。

RUio16FLX-D

入力	出力	RL	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
INPUT 1–16	OUTPUT 1–16	10 kΩ	AD+DA, GAIN: 0 dB		109		dB
-	OUTPUT 1–16	10 kΩ	DA Converter		114		dB

* ダイナミックレンジの測定にはA-weightフィルターを用いています。

12.3.5. クロストーク (@1 kHz)

RUio1608SB-D、RUio0804-D

from/to	to/from	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
INPUT N	INPUT (N-1) or (N+1)	INPUT 1–16 {1–8}, adjacent inputs, GAIN: 0 dB			–100	dB
OUTPUT N	OUTPUT (N-1) or (N+1)	OUTPUT 1–8 {1–4}, input to output			–100	dB

* クロストークの測定には、22 kHz、48 dB/octaveのフィルターを用いています。

RUio16FLX-D

from/to	to/from	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
INPUT N	INPUT (N-1) or (N+1)	INPUT 1–16, adjacent inputs, GAIN: 0 dB			–100	dB
OUTPUT N	OUTPUT (N-1) or (N+1)	OUTPUT 1–16, input to output			–100	dB

* クロストークの測定には、22 kHz、48 dB/octaveのフィルターを用いています。

12.4. アナログ入力規格 *3 *4

入力端子	ゲイン	入力インピーダンス	ソースインピーダンス	入力レベル			コネクター
				感度 *1	規定レベル	最大ノンクリップレベル	
INPUT 1–16 {1–8}	+64 dB	10 kΩ	50–600 Ω Mics 600 Ω Lines	–80 dBu (0.078 mV)	–60 dBu (0.775 mV)	–40 dBu (7.75 mV)	XLR 3-hole chassis (Balanced) *2 Euroblock (3.5 mm pitch) (Balanced) *5
	0 dB			–16 dBu (123 mV)	+4 dBu (1.23 V)	+24 dBu (12.3 V)	

*1 感度とは、ゲインが最大に設定されているときに、+4 dBu (1.23 V)もしくは規定レベルを出力する最小のレベルです。(すべてのフェーダーとレベルコントロールは最大に設定されています。)
*2 1=GND, 2=HOT, 3=COLD

*3 0 dBu = 0.775 Vrms
*4 +48V DC (ファンタム電源)は、各ソフトウェア制御スイッチで、[INPUT]のXLR端子に供給されます。
*5 RUio16FLX-Dのみ。

12.5. アナログ出力規格 *2

RUio1608SB-D、RUio0804-D

出力端子	出力インピーダンス	負荷インピーダンス	出力レベル *3		コネクター
			規定レベル	最大ノンクリップレベル	
OUTPUT 1–8 {1–4}	75 Ω	10 kΩ Lines	+4 dBu (1.23 V)	+24 dBu (12.3 V)	XLR 3-pin chassis (Balanced) *1

*1 1=GND, 2=HOT, 3=COLD
*2 0 dBu = 0.775 Vrms
*3 OUTPUT 1–8 {1-4}の出力レベルは変更可能です。修理ご相談センター(「はじめにお読みください」参照)にお問い合わせください。

RUio16FLX-D

出力端子	出力インピーダンス	負荷インピーダンス	出力レベル *3		コネクター
			規定レベル	最大ノンクリップレベル	
OUTPUT 1–16	75 Ω	10 kΩ Lines	+4 dBu (1.23 V)	+24 dBu (12.3 V)	Euroblock (3.5 mm pitch) (Balanced)

*2 0 dBu = 0.775 Vrms
*3 OUTPUT 1–16の出力レベルは変更可能です。修理ご相談センター(「はじめにお読みください」参照)にお問い合わせください。

12.6. デジタル入出力規格

端子	フォーマット	データ長	レベル	音声	コネクター
Dante PRIMARY/ SECONDARY	Dante	24-bit / 32-bit	1000BASE-T	16ch TX / 8ch RX *2 8ch TX / 4ch RX *3 16ch TX / RX *4	etherCON CAT5e *1
AES/EBU *4	AES/EBU Professional use	24-bit	RS-422	16ch output	Euroblock (3.5 mm pitch) (Balanced) *4

*1 接続には、CAT5e以上のケーブルの使用を推奨します。
*2 RUio1608SB-D
*3 RUio0804-D
*4 RUio16FLX-D

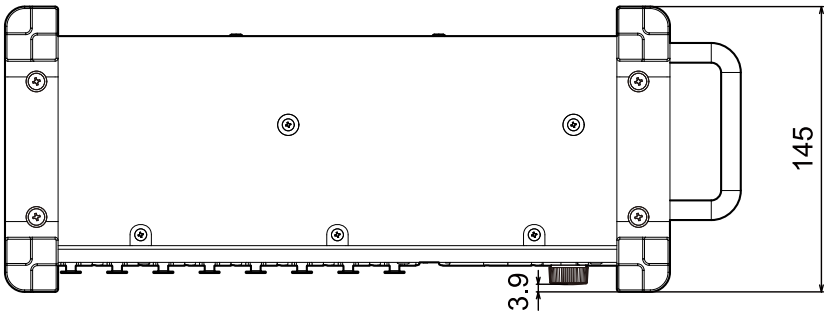
12.7. コントロール入出力規格

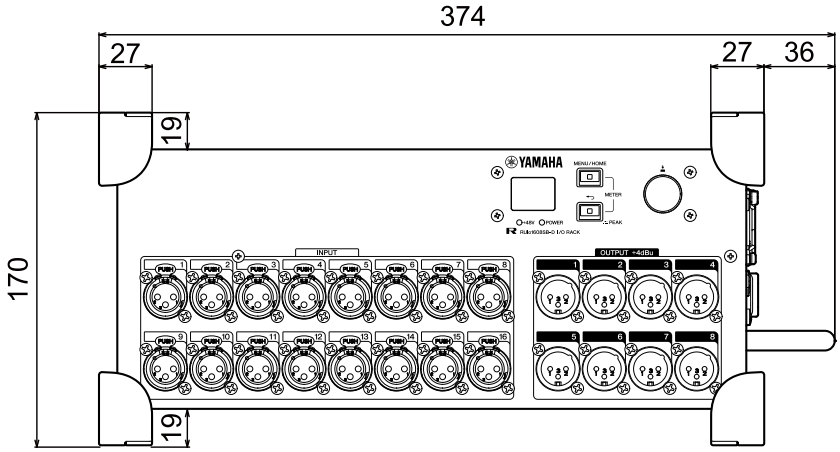
端子	フォーマット	レベル	コネクター
NETWORK	IEEE802.3	1000BASE-T/100BASE-TX	RJ-45 *1

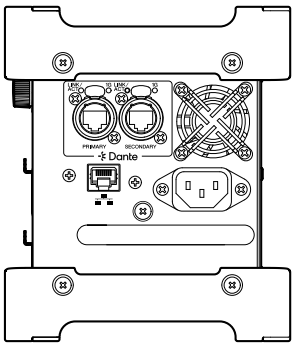
*1 接続には、CAT5e以上のケーブルの使用を推奨します。

12.8. 寸法図

12.8.1. RUio1608SB-D



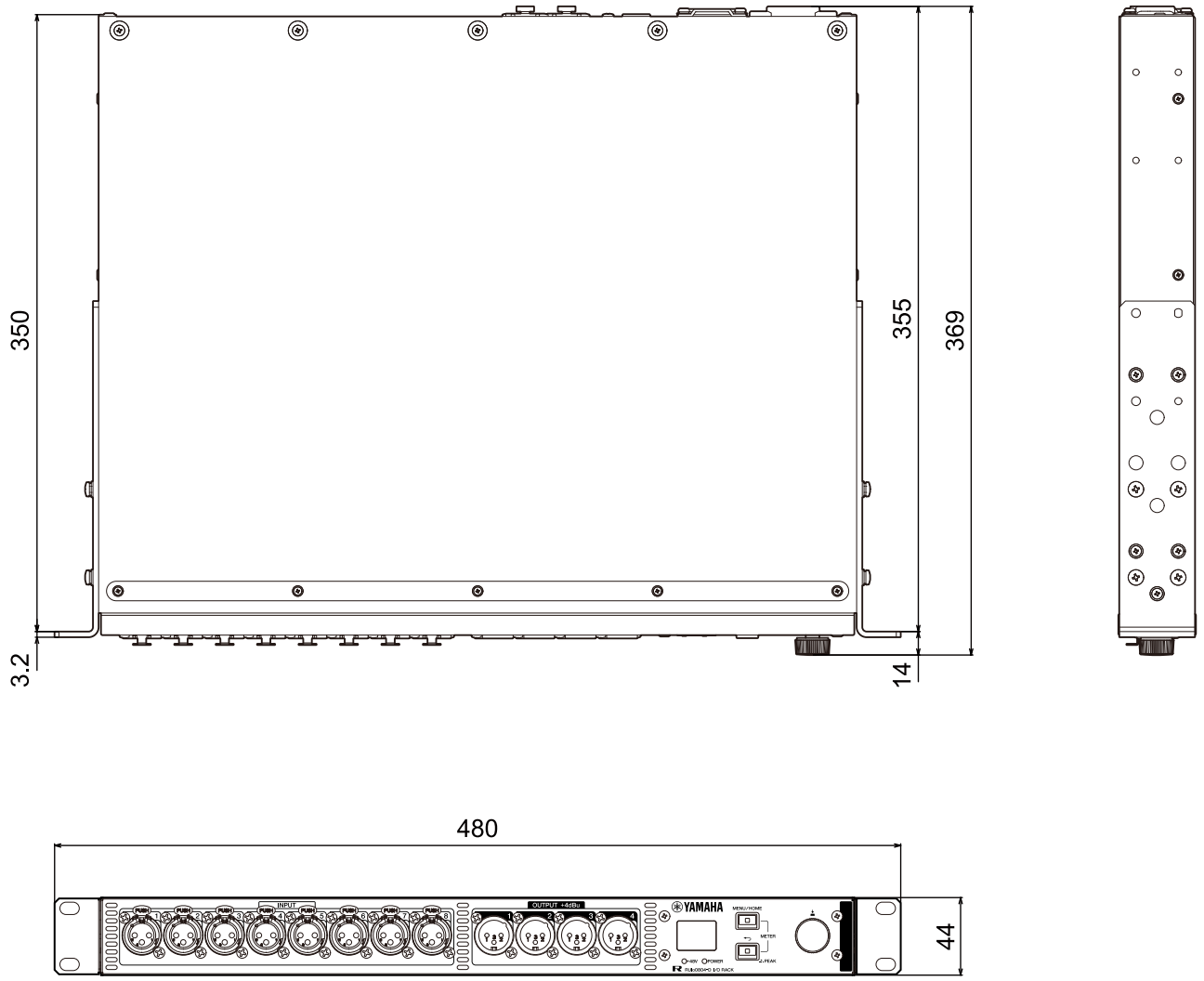




外装色近似マンセル値: N5

単位: mm

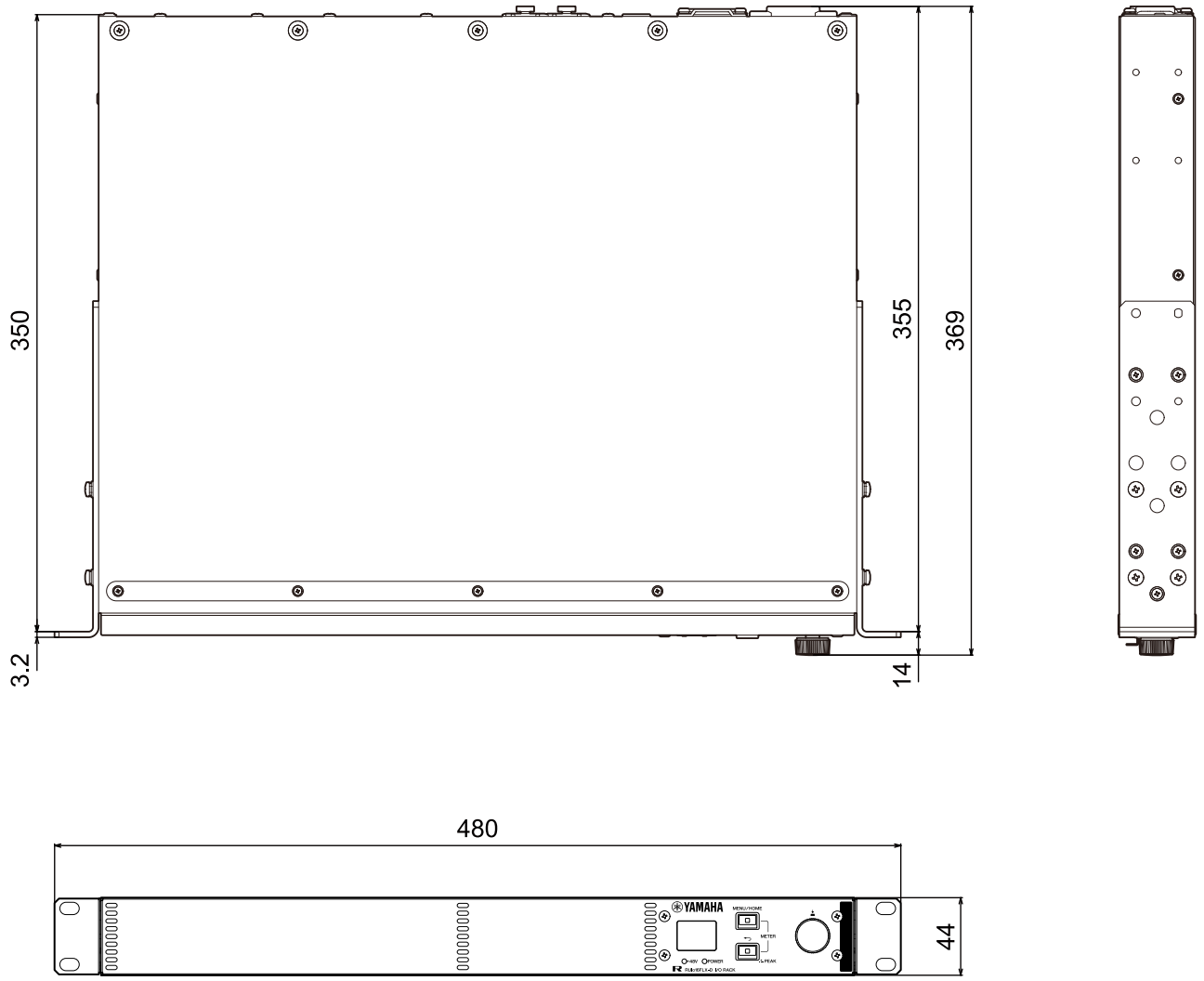
12.8.2. RUio0804-D



外装色近似マンセル値: N5(フロントパネル)

単位: mm

12.8.3. RUio16FLX-D



外装色近似マンセル値: N5(フロントパネル)

単位: mm

12.9. トラブルシューティング(困ったときは)

ヤマハプロオーディオウェブサイトに、FAQ(よくあるご質問と答え)を掲載しています。
https://www.yamahaproaudio.com/

症状	原因	対策方法
電源が入らない、[POWER]インジケーターが点灯しない。	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードを正しく接続してください(「各部の名称と機能」のAC IN端子参照)。
音が入力されない。	ケーブルが正しく接続されていない。	ケーブルを正しく接続してください。
	内蔵ヘッドアンプのゲインが適切なレベルでない。	内蔵ヘッドアンプのゲインを適切なレベルに設定してください。
	START UPモードの設定がREFRESH with MUTEで、対応機器が起動していない。	対応機器を起動して、設定を本製品に送ってください。
入力レベルが小さい。	コンデンサーマイクが接続されている。	該当チャンネルのファンタム電源をオンにしてください。
	内蔵ヘッドアンプのゲインが適切なレベルでない。	内蔵ヘッドアンプのゲインを適切なレベルに設定してください。
音が出ない。	ケーブルが正しく接続されていない。	ケーブルを正しく接続してください。
	START UPモードの設定がREFRESH with MUTEで、対応機器が起動していない。	対応機器を起動して、設定を本製品に送ってください。
	本製品と対応機器のDante設定が一致していない。	対応デジタルミキサーをお使いの場合、CONSOLE IDを#1に設定すると同期されます。その他の機器の場合は、Dante Controllerで設定を一致させてください。
ヘッドアンプがコントロールできない。	対応機器のRACKに本製品がマウントされていない。	対応機器のRACKに本製品をマウントしてください。
内蔵ヘッドアンプのゲインを調整しても音声レベルが変化しない。	GC (Gain Compensation)がオンになっている。	GC (Gain Compensation)が不要な場合は、GC (Gain Compensation)をオフにしてください。
本製品がDante Controller上で見つからない。	Dante用のIPアドレスに不正な値が設定されている。	本製品の初期化を行ってください。
本製品がR Remote上で見つからない。	UNIT ID設定が他のRシリーズと重複している。	UNIT IDを個別に設定してください。
	IPアドレスの設定が間違っている。または、ネットワークの接続方法が間違っている。	ネットワークの設定を見直してください。同じサブネットに設定されているか確認してください。SECONDARYポートをREDUNDANTに設定している場合、Dante [PRIMARY]端子に接続しているか確認してください。

症状	原因	対策方法
[POWER]インジケーターは点灯するが、ディスプレイに何も表示されない。	故障の可能性があります。	修理ご相談センター(*)にご連絡ください。
キー、スイッチ、エンコーダー操作が効かない。	パネルロックに設定されている。	パネルロックを解除してください。

* 修理ご相談センターについては、本製品の「はじめにお読みください」をご参照ください。

© 2026 Yamaha Corporation
2026年8月 発行
HS-A0